

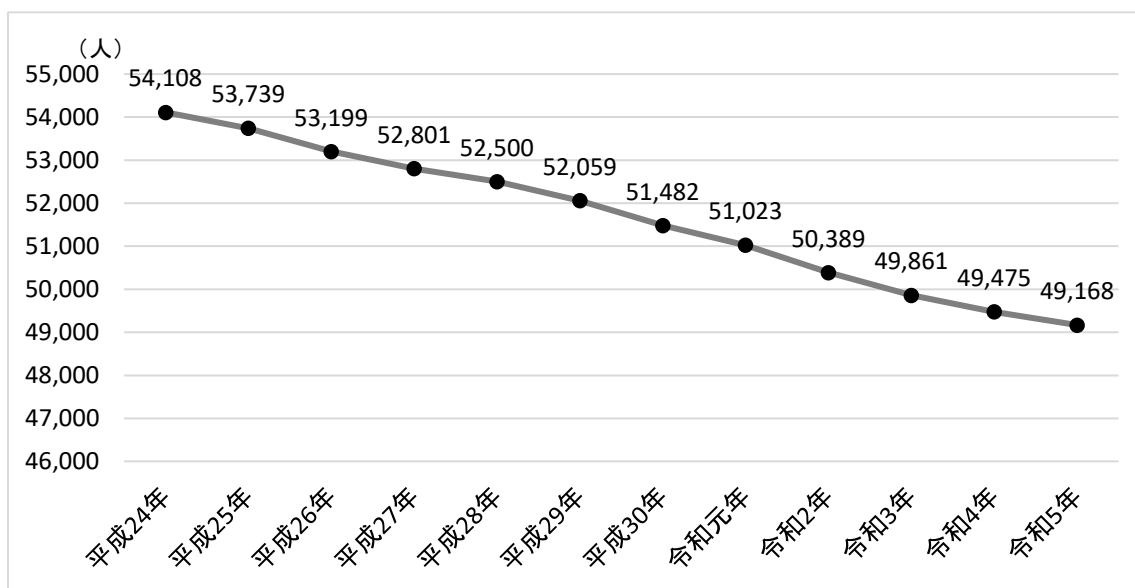
## 第2章 障がいのある人の現状と主要課題

### 1 障がいのある人の状況

#### (1) 総人口および世帯数の推移

本市の総人口は、平成24年度以降一貫して減少が続いています。令和5年10月1日現在の総人口は49,168人となっています。

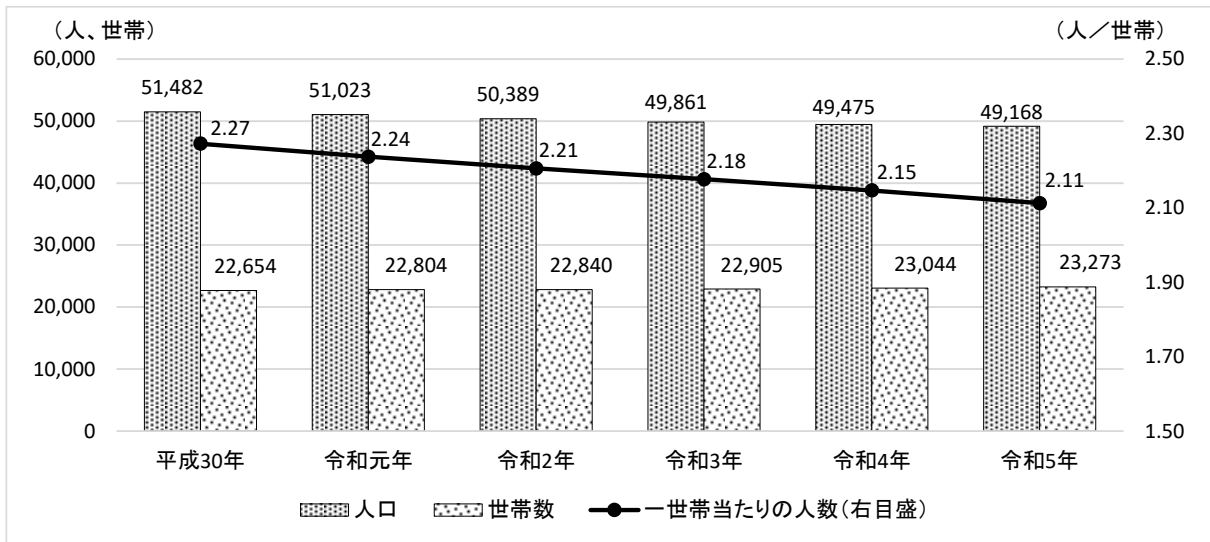
人口の推移(住民基本台帳人口) 各年10月1日現在



世帯数については、微増傾向にあり、令和5年10月1日現在で23,273世帯となっています。

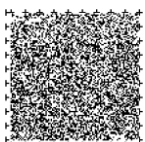
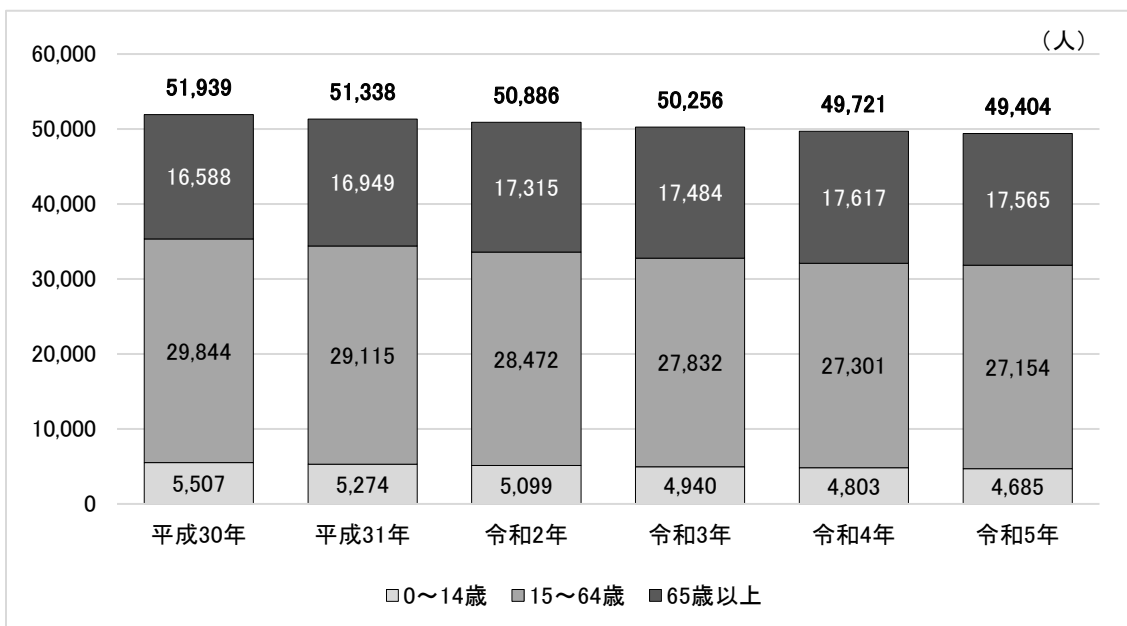
一方、一世帯当たり人員は年々減少しています。令和5年10月1日現在で2.11人/世帯となっており、核家族化、少子化、小世帯化が進んでいます。

世帯・世帯人員推移(住民基本台帳人口) 各年10月1日現在



年齢別人口をみると、0～14歳、15～64歳は減少傾向で推移しており、65歳以上は令和5年に減少に転じました。

年齢三区分別人口の推移(住民基本台帳人口) 各年1月1日現在



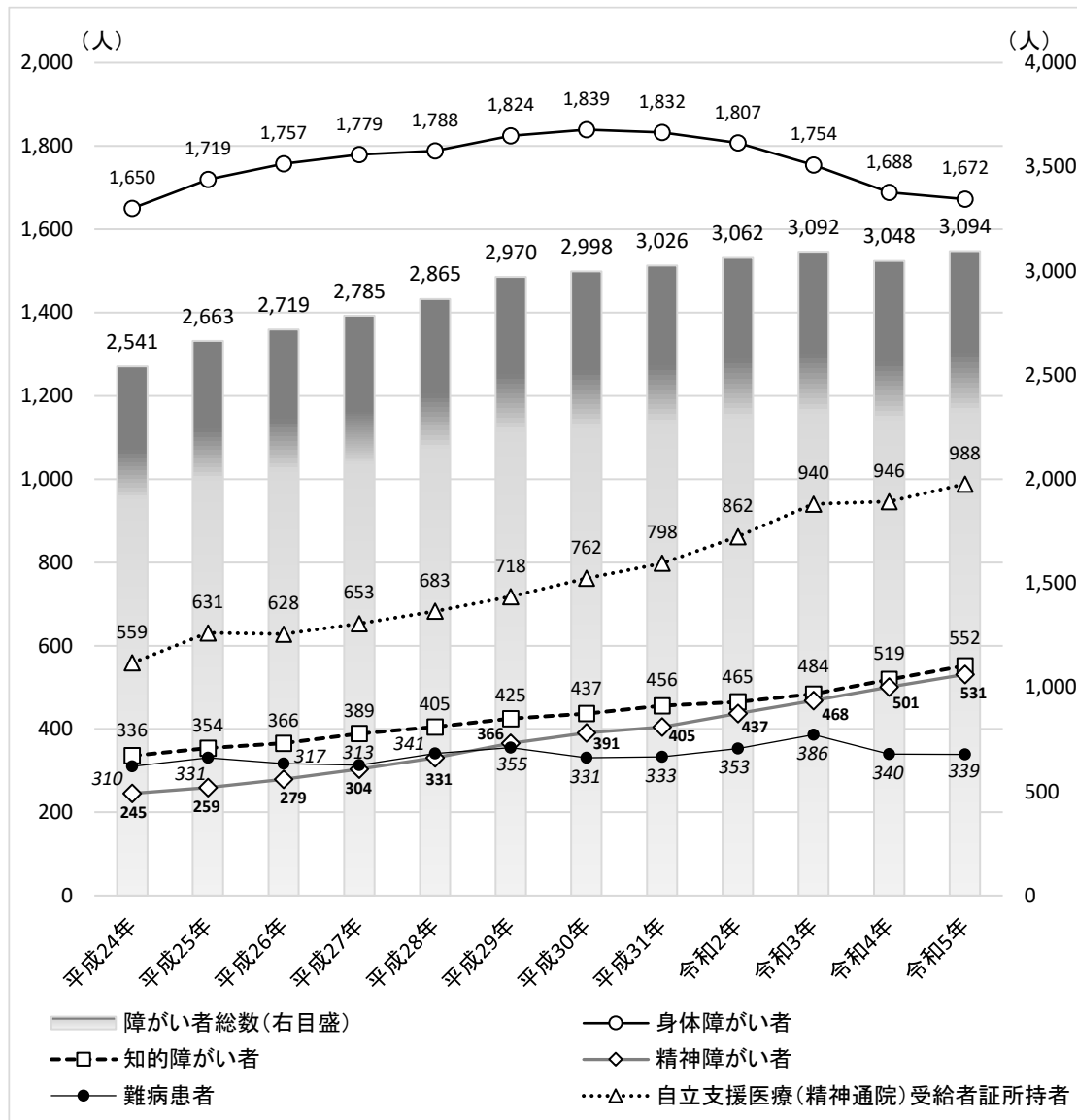
## (2) 障がい者数の推移

障がい者数は、近年横ばい傾向にあり、障がい者の総数は令和5年3月31日現在で3,094人、難病\*患者が加えられた平成24年と比較して約1.22倍となっています。

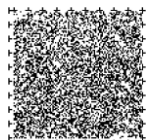
障がい種別では、身体障がい者（身体障害者手帳\*所持者）が1,672人で最も多く、知的障がい者（療育手帳\*所持者）が552人、精神障がい者（精神障害者保健福祉手帳\*所持者）が531人、難病患者は339人となっています。また、自立支援医療\*（精神通院）受給者証所持者は988人となっています。

年推移をみると、身体障がい者は平成30年以降減少傾向であるのに対し、知的障がい者・精神障がい者は一貫して増加傾向となっており、平成24年と比較して知的障がい者が約1.64倍、精神障がい者が約2.17倍となっています。また、自立支援医療受給者証所持者は、平成24年との比較で約1.77倍、難病患者については横ばいの状況です。

障がい者数の推移(各年3月31日現在)



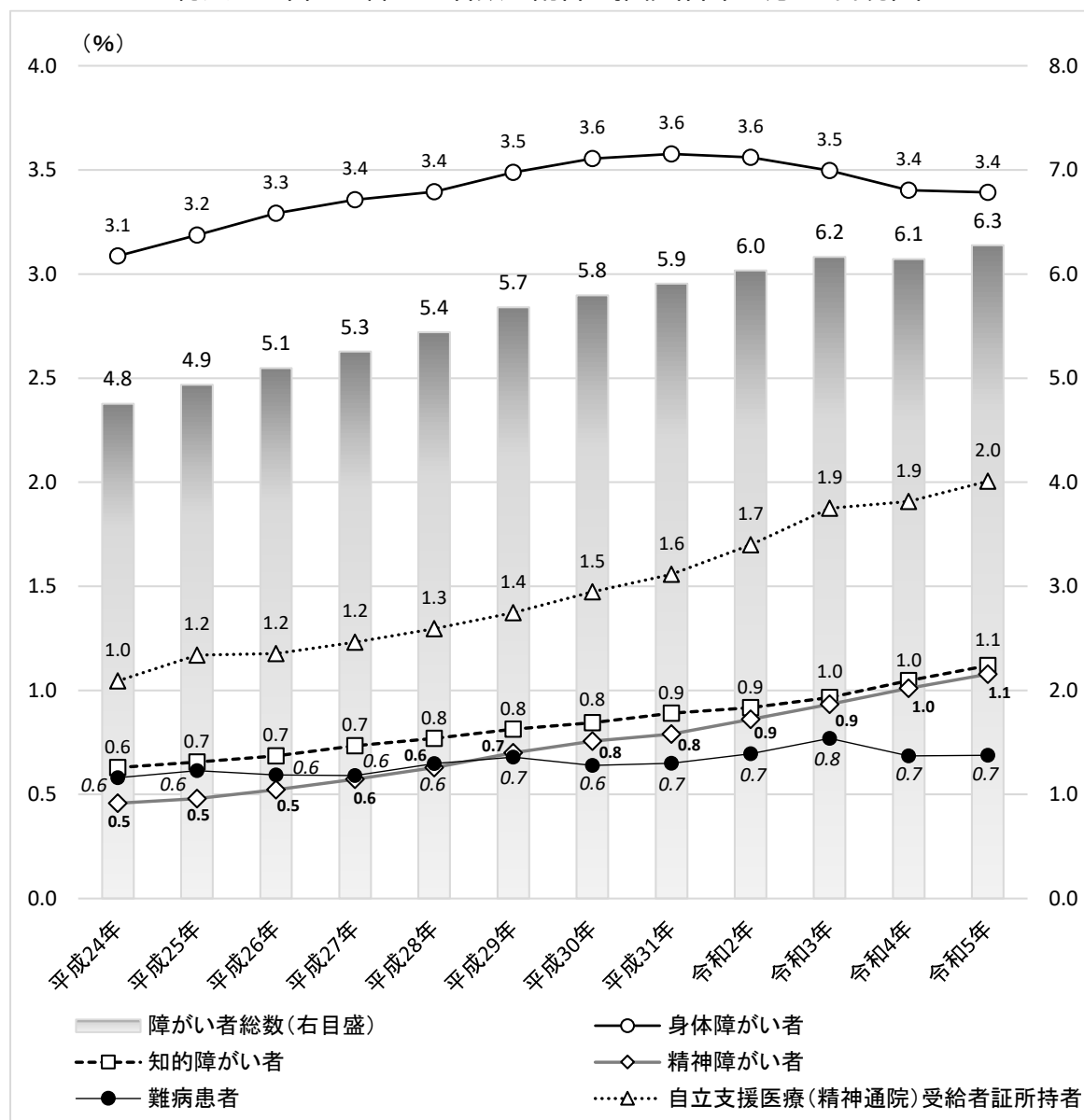
資料：社会福祉課



障がい者総数の総人口に占める割合をみると、平成 24 年の 4.8%から 1.5%増加し、令和5年には 6.3%になっています。

同様に平成 24 年から令和5年までの推移を種別に見ると、身体障がい者は 3.1%から 3.4%に、知的障がい者は 0.6%から 1.1%に、精神障がい者は 0.5%から 1.1%に増加しており、難病\*患者は 0.6%から 0.7%と、ほぼ横ばい傾向になっています。また、自立支援医療\*（精神通院）受給者証所持者は 1.0%から 2.0%に増加しています。

総人口に占める障がい者数の割合の推移(各年3月31日現在)



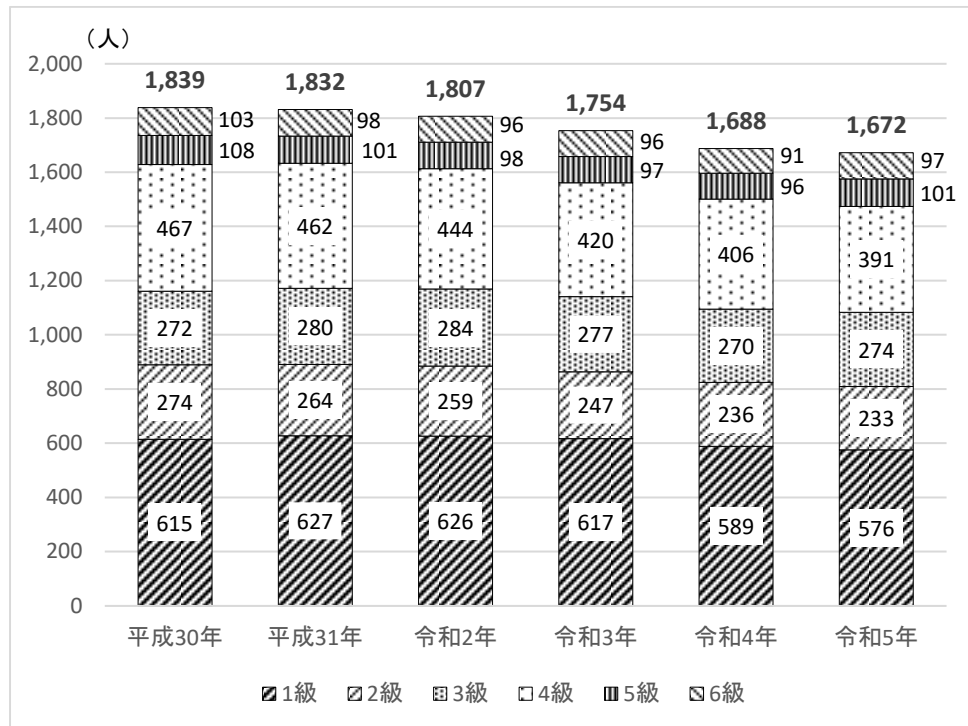
資料：社会福祉課



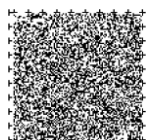
### (3) 身体障がい者の状況

身体障害者手帳\*所持者数を等級別にみると、令和5年3月31日現在、より重度である1級がもっとも多く576人、次いで4級が391人となっています。1級は、平成31年以降、減少傾向で推移しています。

等級別身体障がい者数の推移(各年3月31日現在)

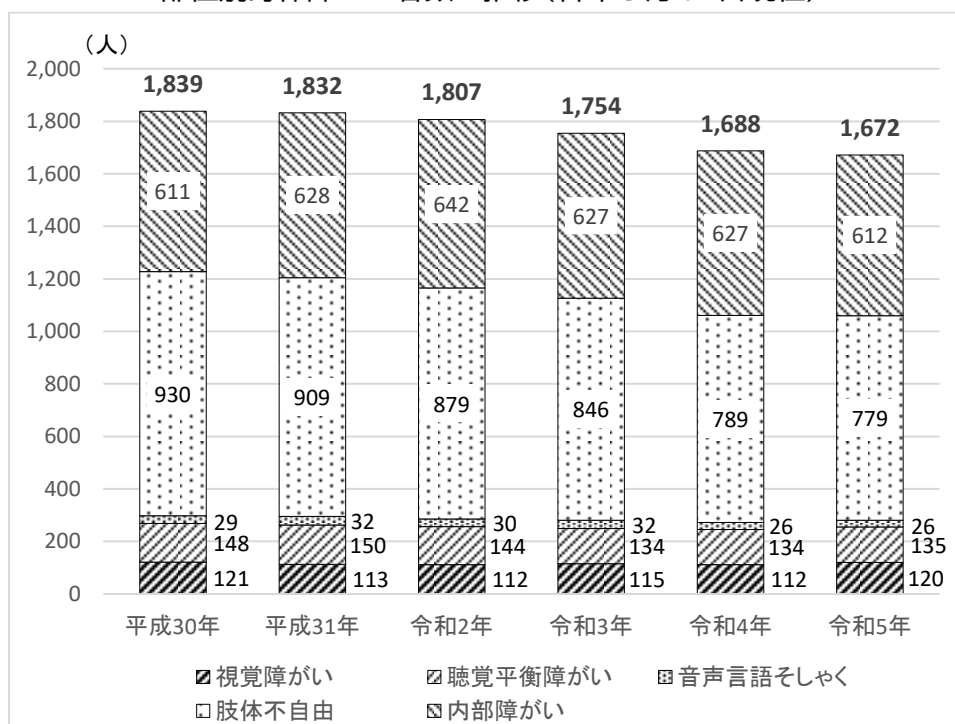


資料：社会福祉課

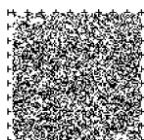


身体障害者手帳\*所持者を障がいの部位別にみると、令和5年3月31日現在、肢体不自由が最も多く779人、次いで内部障がいが612人となっています。平成30年以降、肢体不自由は減少傾向、内部障がいは令和2年の642人をピークにやや減少しています。このほか、聴覚平衡障がい135人、視覚障がい120人、音声言語そしゃく障がいが26人となっています。

部位別身体障がい者数の推移(各年3月31日現在)



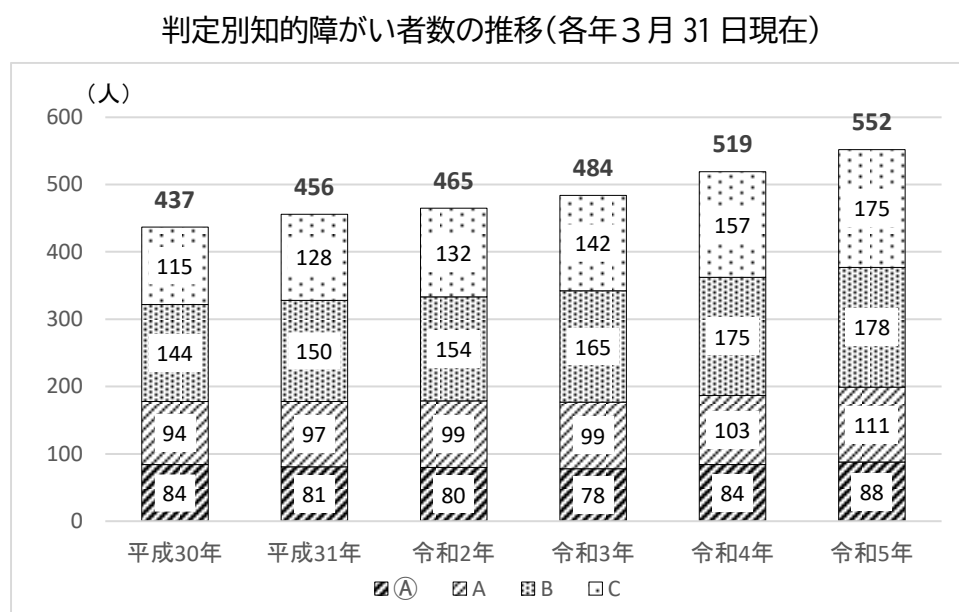
資料：社会福祉課



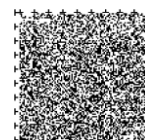
#### (4) 知的障がい者の状況

令和5年3月31日現在の知的障がい者の状況を判定別にみると、B判定が最も多く178人、次いでC判定が175人、A判定が111人、最重度の㊤判定が88人となっています。

令和3年以降の推移をみると、各判定とも増加傾向となっており、なかでもC判定の増加が著しくなっています。



資料：社会福祉課

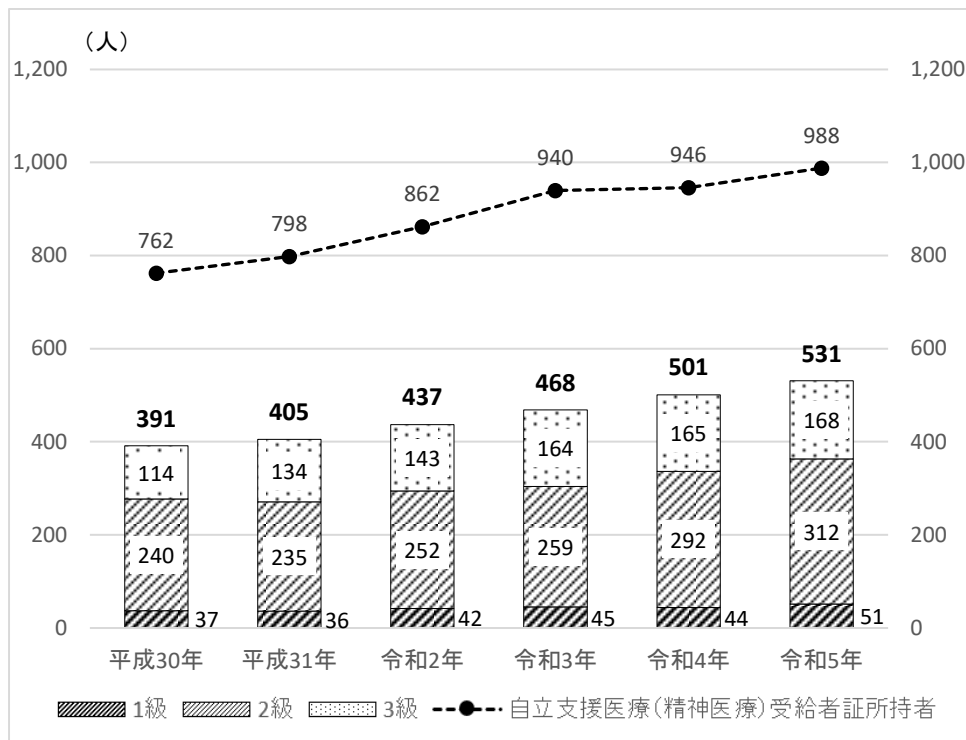


## (5) 精神障がい者の状況

令和5年3月31日現在、自立支援医療\*（精神通院）受給者証所持者は988人であり、精神障害者保健福祉手帳\*所持者は2級が312人、3級が168人、最重度の1級が51人で、合計が531人となっています。

自立支援医療（精神通院）受給者証所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者はどちらも平成30年以降増加傾向で推移しています。

等級別精神障害者保健福祉手帳所持者と  
自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数の推移(各年3月31日現在)

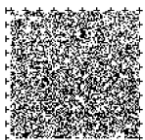


資料：社会福祉課

## (6) 難病\*の方の状況

令和5年3月31日現在、難病患者数（指定難病医療受給者数（※県単独疾患を含む。））は合計で339人となっています。（幸手保健所）

本市において患者数の多い指定難病は、「潰瘍性大腸炎」、「パーキンソン病」、「全身性エリテマトーデス」等となっています。疾病の種類によって日常生活への影響は様々ですが、痛みや倦怠感など外見上ではわかりにくい症状や症状の変動、進行性の症状など、難病特有の症状があります。





## 2 アンケート調査結果の概要

### (1) アンケート調査の実施概要

計画の見直しにあたり、障がい者（児）の生活実態や福祉サービスに対する評価、今後の施策ニーズ等を把握し、検討の基礎資料とすることを目的に、アンケート調査を実施しました。

#### ①調査対象者

---

・身体障害者手帳*所持者	1,224人	
・療育手帳*所持者	386人	
・精神障害者保健福祉手帳*所持者	390人	合計 2,000人

#### ②調査方法および調査期間

調査方法：郵送配付・郵送回収

調査期間：令和5年6月22日（木）～7月7日（金）

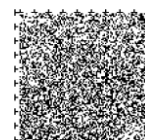
配付数	回収数	回収率
2,000	998	49.9%

※回収数には、締め切り後に届いた調査票も含まれます。

#### ③調査内容

---

回答者ご本人について  
障がいの状況について  
住まいや暮らしについて  
日中活動や就労について  
新型コロナウイルス感染症の影響について  
福祉サービス等の利用について  
相談相手・情報の入手先について  
デジタルの活用について  
権利擁護\*について  
災害時の避難等について  
余暇活動、文化芸術・スポーツ活動等について  
幸手市の障がい福祉全般について



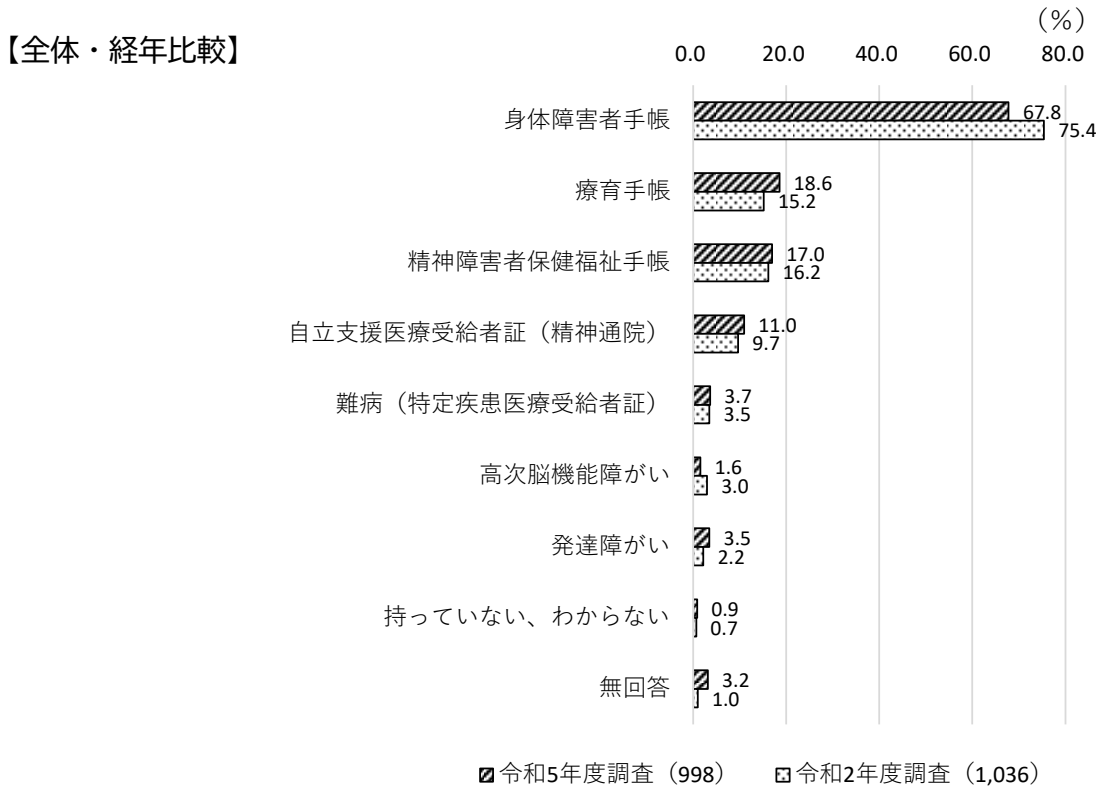
## (2) アンケート調査の主な結果

### ①回答者の状況

#### ア. 手帳や障がい等の状況

回答者の手帳や障がい等の状況をみると「身体障害者手帳\*」が67.8%、次いで「療育手帳\*」が18.6%、「精神障害者保健福祉手帳\*」が17.0%の順となっています。

前回調査（令和2年度調査）と比較すると、「療育手帳」および「精神障害者保健福祉手帳」所持者の割合が増加し、「身体障害者手帳」の割合が減少しています。

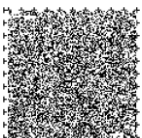


#### 【障がい別】

単位：人（%）

問10 保有する手帳や障がい	全体	障がい区分				
		身体+知的 (精神を含む)	身体	知的 (精神を含む)	精神	無回答
合計	998 (100.0)	33 (100.0)	644 (100.0)	153 (100.0)	123 (100.0)	45 (100.0)
身体障害者手帳	677 ( 67.8)	33 (100.0)	644 (100.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
療育手帳	186 ( 18.6)	33 (100.0)	0 ( 0.0)	153 (100.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
精神障害者保健福祉手帳	170 ( 17.0)	5 ( 15.2)	31 ( 4.8)	11 ( 7.2)	123 (100.0)	0 ( 0.0)
自立支援医療受給者証(精神通院)	110 ( 11.0)	1 ( 3.0)	23 ( 3.6)	14 ( 9.2)	68 ( 55.3)	4 ( 8.9)
難病(特定疾患医療受給者証)	37 ( 3.7)	0 ( 0.0)	36 ( 5.6)	1 ( 0.7)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
高次脳機能障がい	16 ( 1.6)	1 ( 3.0)	10 ( 1.6)	2 ( 1.3)	2 ( 1.6)	1 ( 2.2)
発達障がい	35 ( 3.5)	2 ( 6.1)	1 ( 0.2)	21 ( 13.7)	11 ( 8.9)	0 ( 0.0)
持っていない、わからない	9 ( 0.9)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	9 ( 20.0)
無回答	32 ( 3.2)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	32 ( 71.1)

回答割合が最も多い
  回答割合が2番目に多い

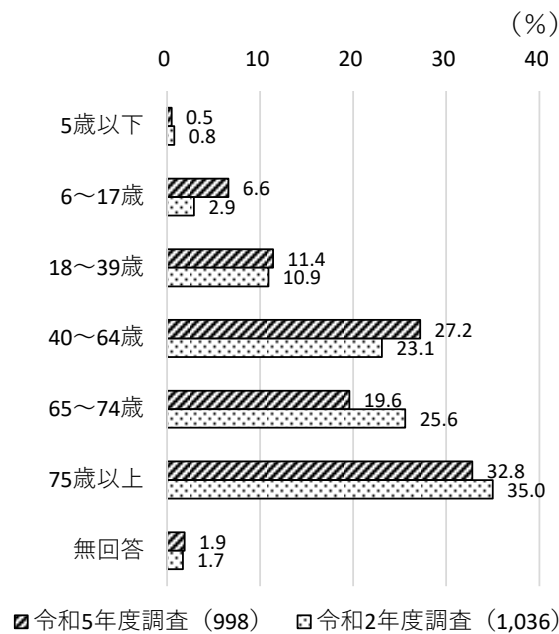


## イ. 年齢

回答者の年齢をみると、「75歳以上」が32.8%で最も多く、回答者の約5割が65歳以上の方となっています。また、前回調査と比較すると、「75歳以上」の割合が約2ポイント減少しています。

障がい別にみると、「身体障がい+知的障がい」と「知的障がい」で「18～39歳」が多く、「身体障がい」では「75歳以上」が、「精神障がい」では「40～64歳」が多くなっています。

### 【全体・経年比較】

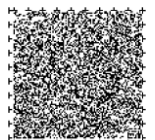


### 【障がい別】

単位：人 (%)

年齢	全体	障がい区分				
		身体+知的 (精神を含む)	身体	知的 (精神を含む)	精神	無回答
合計	998 (100.0)	33 (100.0)	644 (100.0)	153 (100.0)	123 (100.0)	45 (100.0)
5歳以下	5 ( 0.5)	0 ( 0.0)	2 ( 0.3)	3 ( 2.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
6～17歳	66 ( 6.6)	5 ( 15.2)	6 ( 0.9)	45 ( 29.4)	5 ( 4.1)	5 ( 11.1)
18～39歳	114 ( 11.4)	11 ( 33.3)	12 ( 1.9)	62 ( 40.5)	27 ( 22.0)	2 ( 4.4)
40～64歳	271 ( 27.2)	8 ( 24.2)	142 ( 22.0)	36 ( 23.5)	79 ( 64.2)	6 ( 13.3)
65～74歳	196 ( 19.6)	3 ( 9.1)	176 ( 27.3)	4 ( 2.6)	8 ( 6.5)	5 ( 11.1)
75歳以上	327 ( 32.8)	4 ( 12.1)	296 ( 46.0)	1 ( 0.7)	3 ( 2.4)	23 ( 51.1)
無回答	19 ( 1.9)	2 ( 6.1)	10 ( 1.6)	2 ( 1.3)	1 ( 0.8)	4 ( 8.9)

■ 回答割合が最も多い    □ 回答割合が2番目に多い

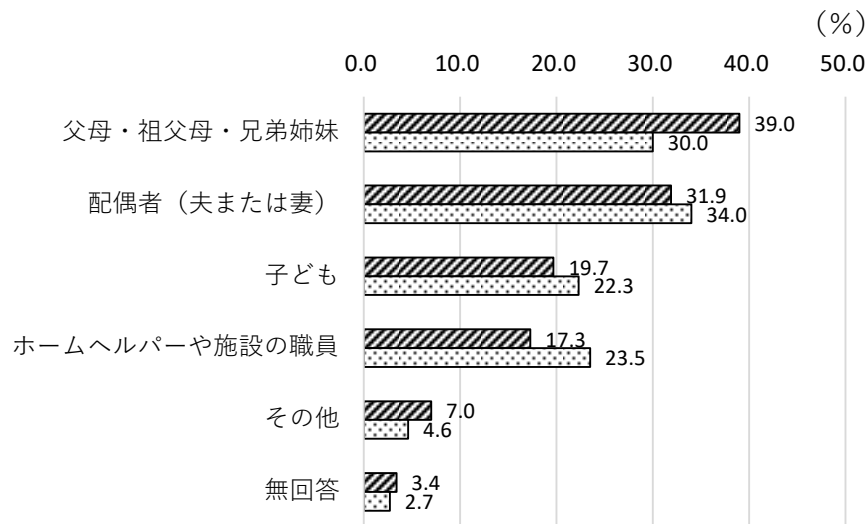


### ウ. 主な介助者

主な介助者は、「父母・祖父母・兄弟姉妹」が39.0%、次いで「配偶者」が31.9%、「子ども」が19.7%の順となっています。

障がい別にみると、「父母・祖父母・兄弟姉妹」が多くなっている中、「身体障がい」では「配偶者」や「子ども」の割合が多く、「父母・祖父母・兄弟姉妹」は12.2%に過ぎません。

### 【全体・経年比較】



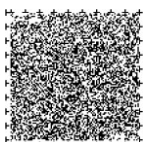
■ 令和5年度調査（498） □ 令和2年度調査（476）

### 【障がい別】

単位：人（%）

問6 主な介助者	全体	障がい区分				
		身体+知的 (精神を含む)	身体	知的 (精神を含む)	精神	無回答
回答者総数	498 (100.0)	25 (100.0)	279 (100.0)	118 (100.0)	53 (100.0)	23 (100.0)
父母・祖父母・兄弟姉妹	194 ( 39.0)	19 ( 76.0)	34 ( 12.2)	107 ( 90.7)	28 ( 52.8)	6 ( 26.1)
配偶者(夫または妻)	159 ( 31.9)	1 ( 4.0)	138 ( 49.5)	2 ( 1.7)	7 ( 13.2)	11 ( 47.8)
子ども	98 ( 19.7)	1 ( 4.0)	86 ( 30.8)	0 ( 0.0)	5 ( 9.4)	6 ( 26.1)
ホームヘルパーや施設の職員	86 ( 17.3)	5 ( 20.0)	56 ( 20.1)	15 ( 12.7)	5 ( 9.4)	5 ( 21.7)
その他	35 ( 7.0)	3 ( 12.0)	13 ( 4.7)	6 ( 5.1)	12 ( 22.6)	1 ( 4.3)
無回答	17 ( 3.4)	1 ( 4.0)	11 ( 3.9)	3 ( 2.5)	2 ( 3.8)	0 ( 0.0)

■ 回答割合が最も多い □ 回答割合が2番目に多い

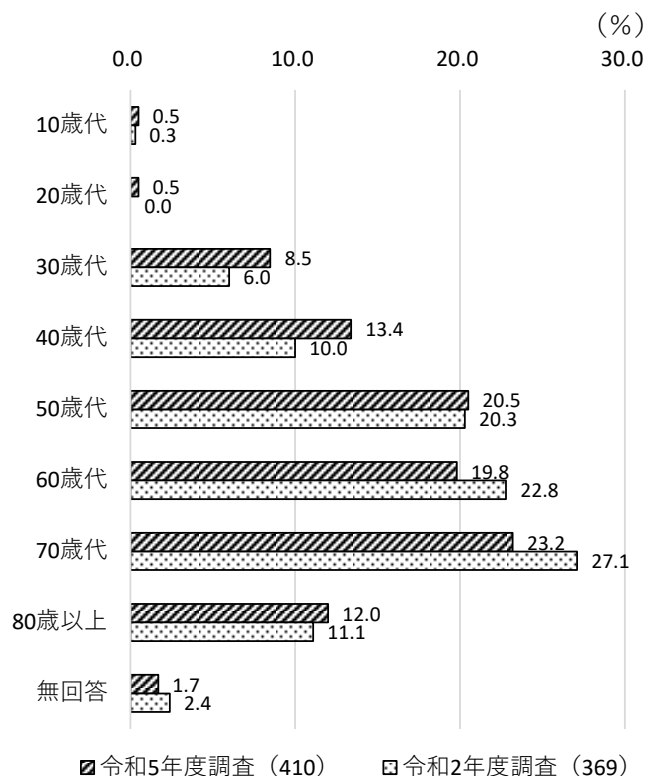


## エ. 主な介助者の年齢

主な介助者の年齢は、「70 歳代」が 23.2%、次いで「50 歳代」が 20.5%、「60 歳代」が 19.8%となっており、介助者の約6割が50歳代以上となっています。前回調査と比較すると、60歳代と70歳代の割合が減少しています。

障がい別では、「身体障がい+知的障がい」と「知的障がい」で「40 歳代」や「50 歳代」の割合が多く、「身体障がい」では「60 歳代」と「70 歳代」が、「精神障がい」では「70 歳代」が多くなっています。

### 【全体・経年比較】



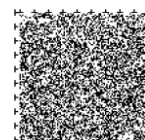
### 【障がい別】

単位：人 (%)

問7 介助者 年齢	全体	障がい区分				
		身体+知的 (精神を含む)	身体	知的 (精神を含む)	精神	無回答
合計	410 (100.0)	21 (100.0)	223 (100.0)	109 (100.0)	38 (100.0)	19 (100.0)
10歳代	2 ( 0.5)	0 ( 0.0)	2 ( 0.9)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
20歳代	2 ( 0.5)	0 ( 0.0)	2 ( 0.9)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
30歳代	35 ( 8.5)	1 ( 4.8)	10 ( 4.5)	16 ( 14.7)	6 ( 15.8)	2 ( 10.5)
40歳代	55 ( 13.4)	7 ( 33.3)	16 ( 7.2)	26 ( 23.9)	4 ( 10.5)	2 ( 10.5)
50歳代	84 ( 20.5)	6 ( 28.6)	42 ( 18.8)	27 ( 24.8)	6 ( 15.8)	3 ( 15.8)
60歳代	81 ( 19.8)	4 ( 19.0)	53 ( 23.8)	17 ( 15.6)	6 ( 15.8)	1 ( 5.3)
70歳代	95 ( 23.2)	3 ( 14.3)	53 ( 23.8)	21 ( 19.3)	14 ( 36.8)	4 ( 21.1)
80歳以上	49 ( 12.0)	0 ( 0.0)	39 ( 17.5)	1 ( 0.9)	2 ( 5.3)	7 ( 36.8)
無回答	7 ( 1.7)	0 ( 0.0)	6 ( 2.7)	1 ( 0.9)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)

■ 回答割合が最も多い

■ 回答割合が2番目に多い



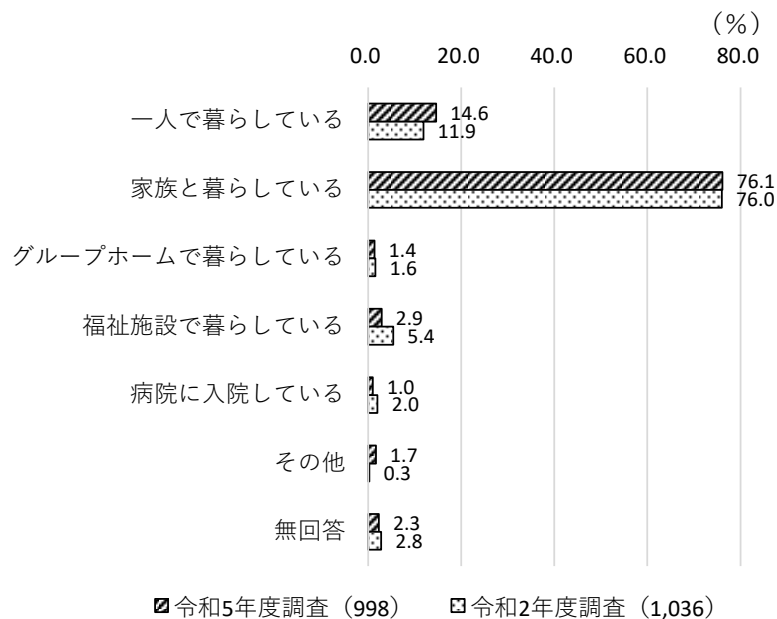
## ②住まいや暮らしについて

### ア. 現在の暮らし

現在の暮らしの状況を見ると、「家族と暮らしている」が76.1%、次いで「一人で暮らしている」が14.6%、「福祉施設で暮らしている」が2.9%となっており、前回調査から大きな変化はありませんが、「一人で暮らしている」がやや増加し、「福祉施設で暮らしている」がやや減少しています。

障がい別では、いずれも「家族と暮らしている」が多くなっており、特に「知的障がい」と「身体障がい+知的障がい」でその割合が多くなっています。

### 【全体・経年比較】

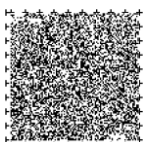


### 【障がい別】

単位: 人 (%)

問16 居住状況	全体	障がい区分				
		身体+知的 (精神を含む)	身体	知的 (精神を含む)	精神	無回答
合計	998 (100.0)	33 (100.0)	644 (100.0)	153 (100.0)	123 (100.0)	45 (100.0)
一人で暮らしている	146 ( 14.6)	2 ( 6.1)	115 ( 17.9)	5 ( 3.3)	22 ( 17.9)	2 ( 4.4)
家族と暮らしている	759 ( 76.1)	27 ( 81.8)	474 ( 73.6)	132 ( 86.3)	90 ( 73.2)	36 ( 80.0)
グループホームで暮らしている	14 ( 1.4)	2 ( 6.1)	4 ( 0.6)	7 ( 4.6)	0 ( 0.0)	1 ( 2.2)
福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしている	29 ( 2.9)	2 ( 6.1)	22 ( 3.4)	3 ( 2.0)	2 ( 1.6)	0 ( 0.0)
病院に入院している	10 ( 1.0)	0 ( 0.0)	5 ( 0.8)	1 ( 0.7)	3 ( 2.4)	1 ( 2.2)
その他	17 ( 1.7)	0 ( 0.0)	8 ( 1.2)	2 ( 1.3)	5 ( 4.1)	2 ( 4.4)
無回答	23 ( 2.3)	0 ( 0.0)	16 ( 2.5)	3 ( 2.0)	1 ( 0.8)	3 ( 6.7)

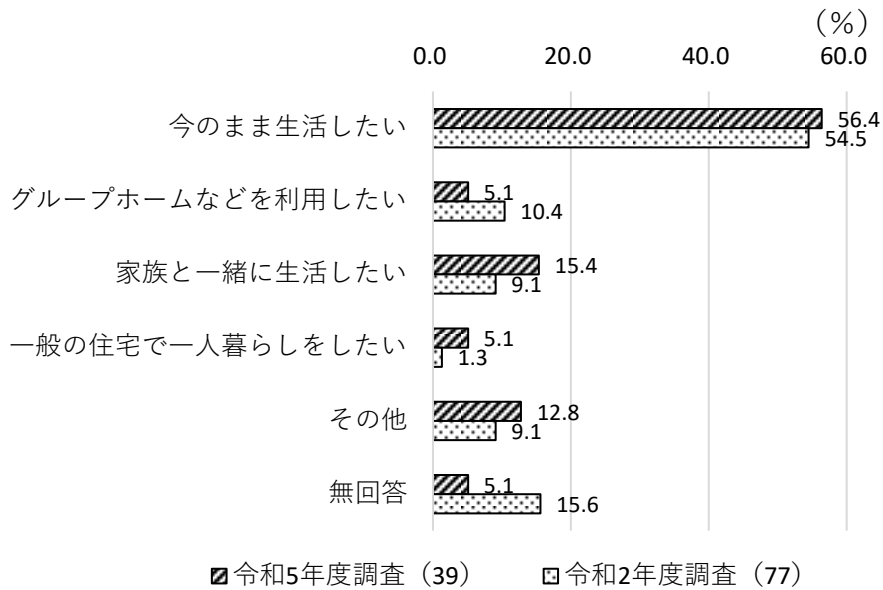
■ 回答割合が最も多い    ■ 回答割合が2番目に多い



### イ. 将来地域で生活したいか

現在の暮らしの状況で、「福祉施設で暮らしている」または「病院に入院している」と回答した方に、将来地域で生活したいかどうかたずねたところ、「今のまま生活したい」が56.4%、「家族と一緒に生活したい」が15.4%、「グループホーム\*などを利用したい」と「一般の住宅で一人暮らしをしたい」がともに5.1%となっています。

#### 【全体・経年比較】

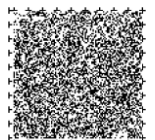


#### 【障がい別】

単位：人 (%)

問17 居住希望	全体	障がい区分				無回答
		身体+知的 (精神を含む)	身体	知的 (精神を含む)	精神	
合計	39 (100.0)	2 (100.0)	27 (100.0)	4 (100.0)	5 (100.0)	1 (100.0)
今のまま生活したい	22 ( 56.4)	1 ( 50.0)	16 ( 59.3)	2 ( 50.0)	3 ( 60.0)	0 ( 0.0)
グループホームなどを利用したい	2 ( 5.1)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	1 ( 20.0)	1 (100.0)
家族と一緒に生活したい	6 ( 15.4)	1 ( 50.0)	5 ( 18.5)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
一般の住宅で一人暮らしをしたい	2 ( 5.1)	0 ( 0.0)	1 ( 3.7)	1 ( 25.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
その他	5 ( 12.8)	0 ( 0.0)	3 ( 11.1)	1 ( 25.0)	1 ( 20.0)	0 ( 0.0)
無回答	2 ( 5.1)	0 ( 0.0)	2 ( 7.4)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)

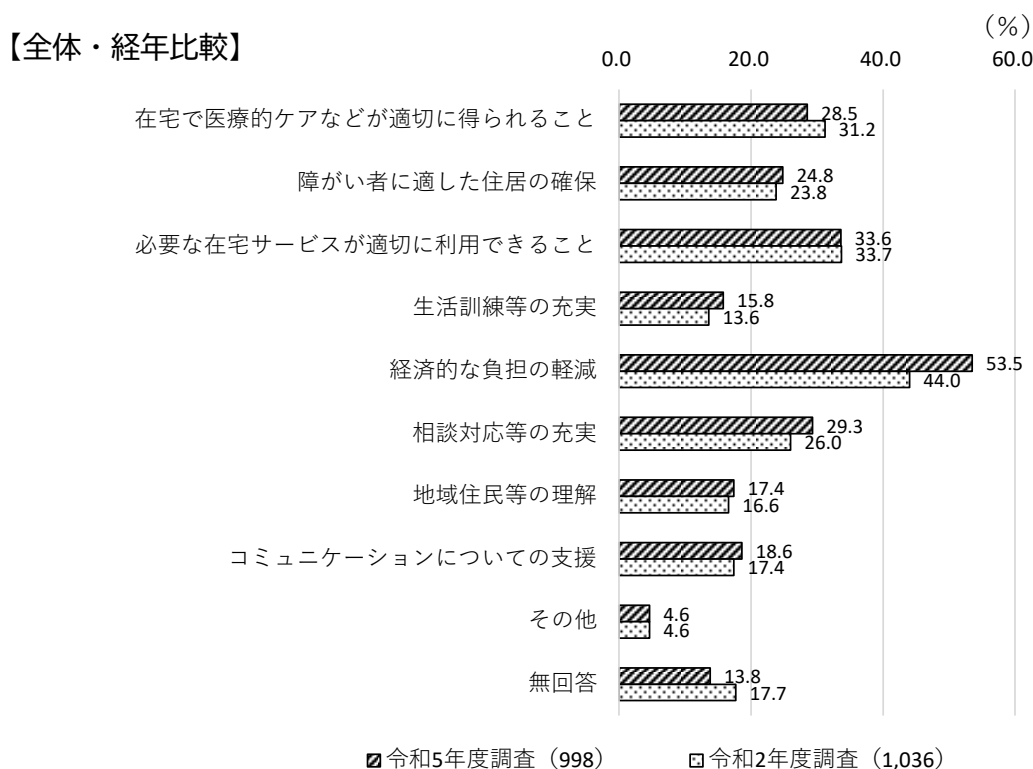
■ 回答割合が最も多い    □ 回答割合が2番目に多い



### ウ. 地域で生活するために必要な支援

地域で生活するために必要な支援は、「経済的な負担の軽減」が53.5%、次いで「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が33.6%、「相談対応等の充実」が29.3%となっています。前回調査と比較すると、概ね同様の傾向となっています。

障がい別でも、いずれも「経済的な負担の軽減」の割合が多くなっています。

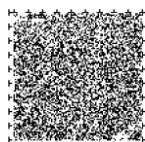


### 【障がい別】

単位：人 (%)

問18 地域生活のための支援	全体	障がい区分				
		身体+知的 (精神を含む)	身体	知的 (精神を含む)	精神	無回答
合計	998 (100.0)	33 (100.0)	644 (100.0)	153 (100.0)	123 (100.0)	45 (100.0)
在宅で医療的ケアなどが適切に得られること	284 ( 28.5)	11 ( 33.3)	209 ( 32.5)	26 ( 17.0)	22 ( 17.9)	16 ( 35.6)
障がい者に適した住居の確保	248 ( 24.8)	13 ( 39.4)	139 ( 21.6)	55 ( 35.9)	34 ( 27.6)	7 ( 15.6)
必要な在宅サービスが適切に利用できること	335 ( 33.6)	15 ( 45.5)	226 ( 35.1)	51 ( 33.3)	25 ( 20.3)	18 ( 40.0)
生活訓練等の充実	158 ( 15.8)	8 ( 24.2)	70 ( 10.9)	52 ( 34.0)	24 ( 19.5)	4 ( 8.9)
経済的な負担の軽減	534 ( 53.5)	20 ( 60.6)	308 ( 47.8)	97 ( 63.4)	86 ( 69.9)	23 ( 51.1)
相談対応等の充実	292 ( 29.3)	12 ( 36.4)	135 ( 21.0)	73 ( 47.7)	65 ( 52.8)	7 ( 15.6)
地域住民等の理解	174 ( 17.4)	6 ( 18.2)	76 ( 11.8)	58 ( 37.9)	28 ( 22.8)	6 ( 13.3)
コミュニケーションについての支援	186 ( 18.6)	11 ( 33.3)	80 ( 12.4)	54 ( 35.3)	31 ( 25.2)	10 ( 22.2)
その他	46 ( 4.6)	1 ( 3.0)	31 ( 4.8)	3 ( 2.0)	10 ( 8.1)	1 ( 2.2)
無回答	138 ( 13.8)	2 ( 6.1)	102 ( 15.8)	16 ( 10.5)	11 ( 8.9)	7 ( 15.6)

■ 回答割合が最も多い      □ 回答割合が2番目に多い



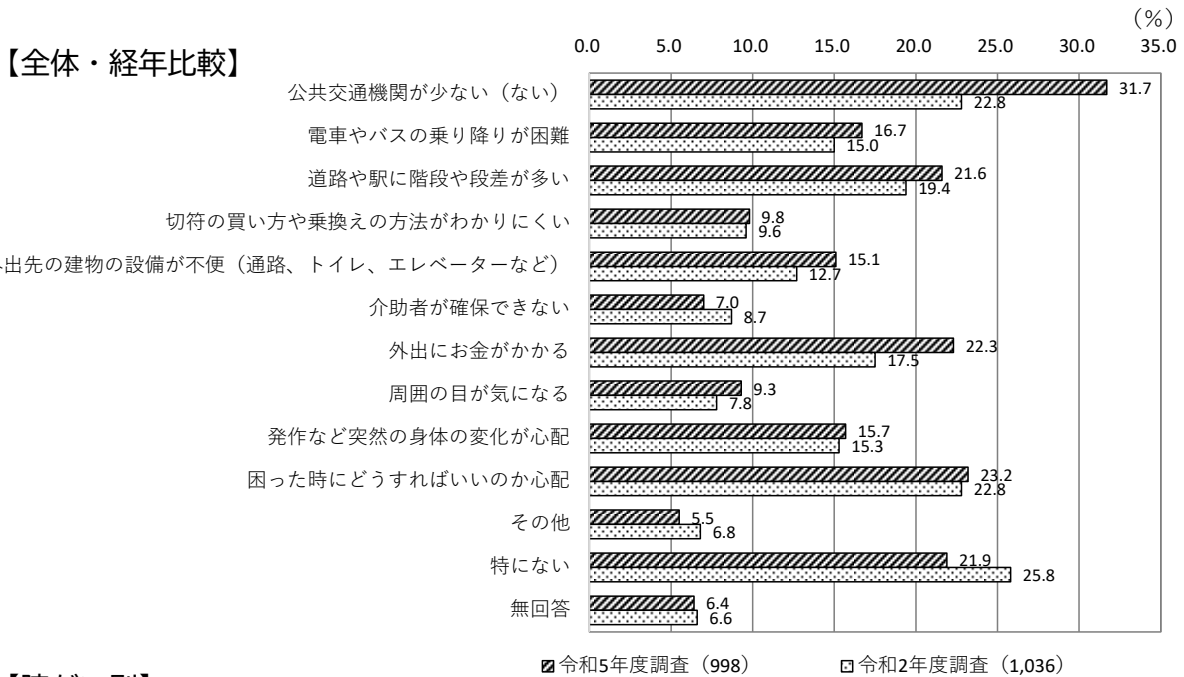


### ③外出や就労について

#### ア. 外出での困りごと

外出での困りごとは、「公共交通機関が少ない(ない)」が31.7%、「困った時にどうすればいいのか心配」が23.2%、「外出にお金がかかる」が22.3%、「道路や駅に階段や段差が多い」が21.6%などとなっています。前回調査と比較すると、「公共交通機関が少ない(ない)」の割合が大きく増加しています。

障がい別では、「身体障がい+知的障がい」と「身体障がい」で「公共交通機関が少ない(ない)」が、「知的障がい」で「困った時にどうすればいいのか心配」が、「精神障がい」で「外出にお金がかかる」が、それぞれ多くなっています。



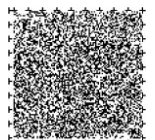
#### 【障がい別】

単位：人(%)

問23 外出時に困ること	全体	障がい区分				無回答
		身体+知的 (精神を含む)	身体	知的 (精神を含む)	精神	
合計	998 (100.0)	33 (100.0)	644 (100.0)	153 (100.0)	123 (100.0)	45 (100.0)
公共交通機関が少ない(ない)	316 ( 31.7)	13 ( 39.4)	206 ( 32.0)	41 ( 26.8)	42 ( 34.1)	14 ( 31.1)
電車やバスの乗り降りが困難	167 ( 16.7)	8 ( 24.2)	123 ( 19.1)	20 ( 13.1)	10 ( 8.1)	6 ( 13.3)
道路や駅に階段や段差が多い	216 ( 21.6)	9 ( 27.3)	169 ( 26.2)	19 ( 12.4)	11 ( 8.9)	8 ( 17.8)
切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい	98 ( 9.8)	2 ( 6.1)	50 ( 7.8)	33 ( 21.6)	9 ( 7.3)	4 ( 8.9)
外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど)	151 ( 15.1)	9 ( 27.3)	113 ( 17.5)	17 ( 11.1)	7 ( 5.7)	5 ( 11.1)
介助者が確保できない	70 ( 7.0)	4 ( 12.1)	43 ( 6.7)	9 ( 5.9)	9 ( 7.3)	5 ( 11.1)
外出にお金がかかる	223 ( 22.3)	7 ( 21.2)	119 ( 18.5)	41 ( 26.8)	46 ( 37.4)	10 ( 22.2)
周囲の目が気になる	93 ( 9.3)	7 ( 21.2)	29 ( 4.5)	30 ( 19.6)	24 ( 19.5)	3 ( 6.7)
発作など突然の身体の変化が心配	157 ( 15.7)	7 ( 21.2)	93 ( 14.4)	21 ( 13.7)	29 ( 23.6)	7 ( 15.6)
困った時にどうすればいいのか心配	232 ( 23.2)	10 ( 30.3)	117 ( 18.2)	58 ( 37.9)	37 ( 30.1)	10 ( 22.2)
その他	55 ( 5.5)	2 ( 6.1)	33 ( 5.1)	5 ( 3.3)	12 ( 9.8)	3 ( 6.7)
特になし	219 ( 21.9)	4 ( 12.1)	155 ( 24.1)	34 ( 22.2)	22 ( 17.9)	4 ( 8.9)
無回答	64 ( 6.4)	1 ( 3.0)	42 ( 6.5)	10 ( 6.5)	4 ( 3.3)	7 ( 15.6)

■ 回答割合が最も多い

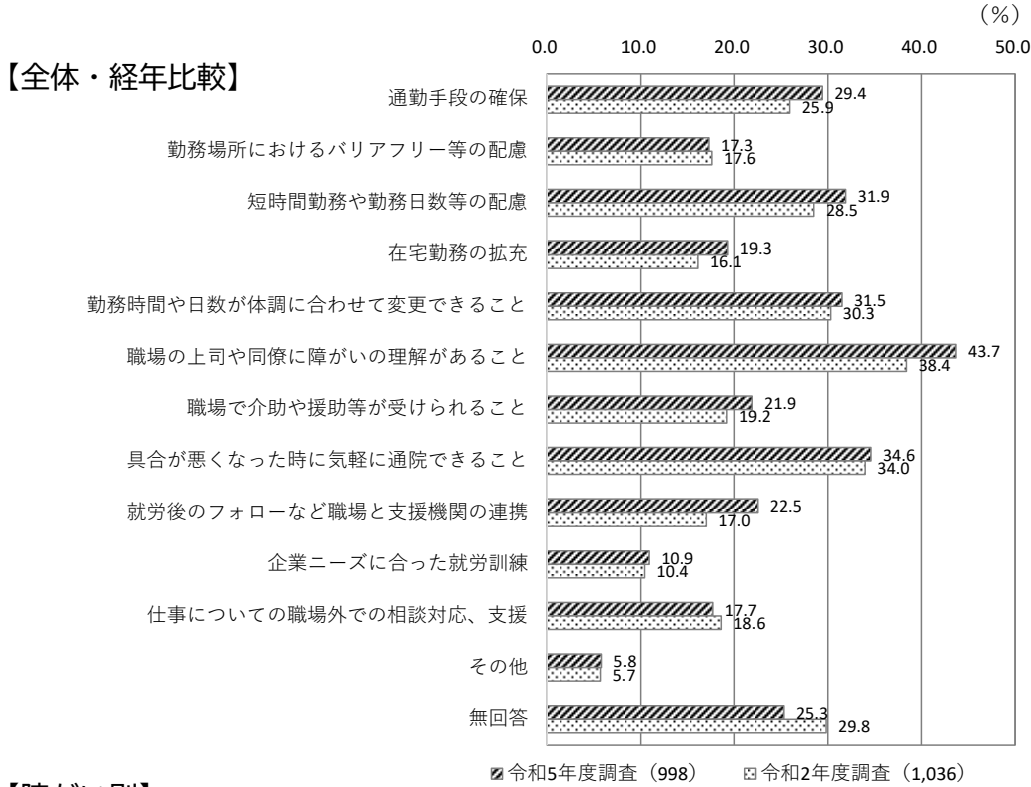
■ 回答割合が2番目に多い



## イ. 就労支援に必要なこと

就労支援に必要なことは、「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が43.7%、次いで「具合が悪くなった時に気軽に通院できること」が34.6%などとなっています。前回調査と比較すると、前回でも1位だった「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」の割合が増加しています。

障がい別でも、各障がいとも「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が多くっており、特に「知的障がい」でその割合が多くなっています。

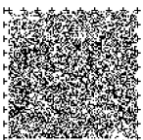


## 【障がい別】

単位: 人 (%)

問28 必要な就労支援	全体	障がい区分				無回答
		身体+知的 (精神を含む)	身体	知的 (精神を含む)	精神	
合計	998 (100.0)	33 (100.0)	644 (100.0)	153 (100.0)	123 (100.0)	45 (100.0)
通勤手段の確保	293 ( 29.4)	13 ( 39.4)	166 ( 25.8)	66 ( 43.1)	38 ( 30.9)	10 ( 22.2)
勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	173 ( 17.3)	8 ( 24.2)	128 ( 19.9)	17 ( 11.1)	12 ( 9.8)	8 ( 17.8)
短時間勤務や勤務日数等の配慮	318 ( 31.9)	10 ( 30.3)	176 ( 27.3)	64 ( 41.8)	60 ( 48.8)	8 ( 17.8)
在宅勤務の拡充	193 ( 19.3)	7 ( 21.2)	124 ( 19.3)	25 ( 16.3)	34 ( 27.6)	3 ( 6.7)
勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること	314 ( 31.5)	11 ( 33.3)	183 ( 28.4)	56 ( 36.6)	60 ( 48.8)	4 ( 8.9)
職場の上司や同僚に障がいの理解があること	436 ( 43.7)	15 ( 45.5)	226 ( 35.1)	108 ( 70.6)	77 ( 62.6)	10 ( 22.2)
職場で介助や援助等が受けられること	219 ( 21.9)	12 ( 36.4)	111 ( 17.2)	65 ( 42.5)	24 ( 19.5)	7 ( 15.6)
具合が悪くなった時に気軽に通院できること	345 ( 34.6)	9 ( 27.3)	222 ( 34.5)	45 ( 29.4)	57 ( 46.3)	12 ( 26.7)
就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	225 ( 22.5)	10 ( 30.3)	90 ( 14.0)	72 ( 47.1)	49 ( 39.8)	4 ( 8.9)
企業ニーズに合った就労訓練	109 ( 10.9)	6 ( 18.2)	44 ( 6.8)	27 ( 17.6)	29 ( 23.6)	3 ( 6.7)
仕事についての職場外での相談対応、支援	177 ( 17.7)	7 ( 21.2)	69 ( 10.7)	55 ( 35.9)	42 ( 34.1)	4 ( 8.9)
その他	58 ( 5.8)	3 ( 9.1)	31 ( 4.8)	11 ( 7.2)	9 ( 7.3)	4 ( 8.9)
無回答	252 ( 25.3)	7 ( 21.2)	195 ( 30.3)	15 ( 9.8)	16 ( 13.0)	19 ( 42.2)

■ 回答割合が最も多い □ 回答割合が2番目に多い

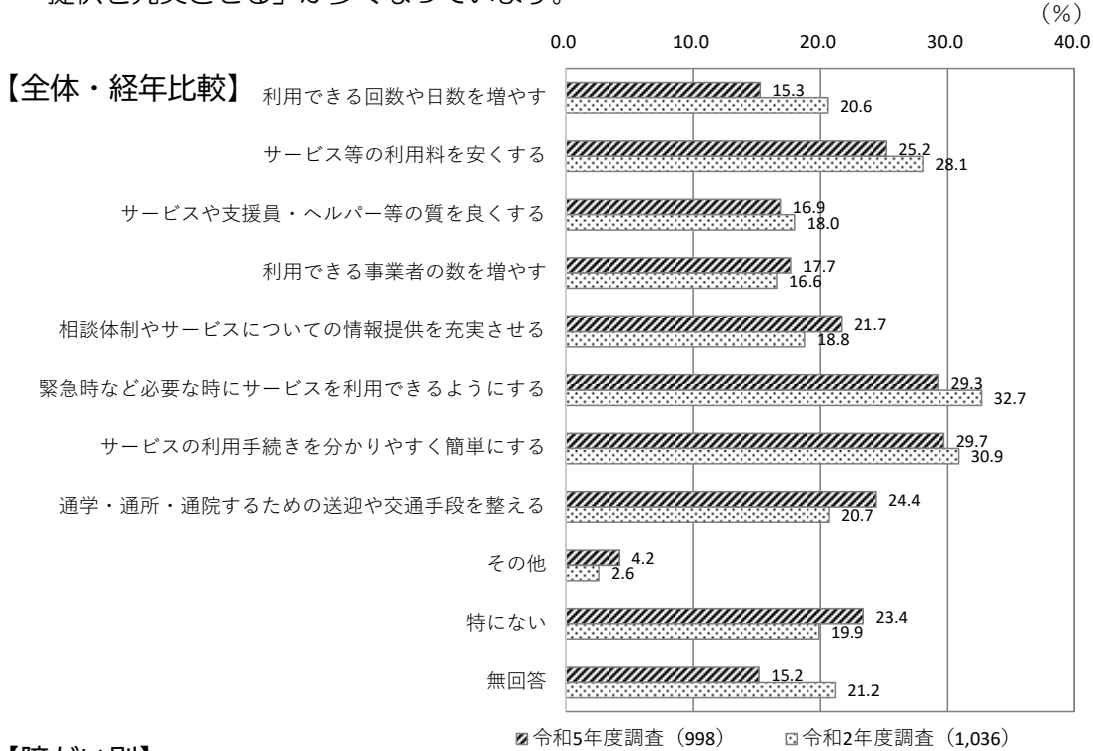


#### ④福祉サービスについて

##### ア. 福祉サービスで改善が必要な点

福祉サービスで改善が必要な点は、「サービスの利用手続きをわかりやすく簡単にする」が29.7%、「緊急時など必要な時にサービスを利用できるようにする」が29.3%、「サービス等の利用料を安くする」が25.2%などとなっています。

障がい別では、「身体障がい+知的障がい」と「知的障がい」で「緊急時など必要な時にサービスを利用できるようにする」が、「精神障がい」で「相談体制やサービスについての情報提供を充実させる」が多くなっています。

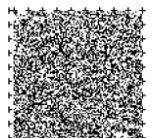


##### 【障がい別】

問31 障害福祉サービスの改善点	全体	障がい区分				
		身体+知的 (精神を含む)	身体	知的 (精神を含む)	精神	無回答
合計	998 (100.0)	33 (100.0)	644 (100.0)	153 (100.0)	123 (100.0)	45 (100.0)
利用できる回数や日数を増やす	153 ( 15.3)	7 ( 21.2)	82 ( 12.7)	34 ( 22.2)	20 ( 16.3)	10 ( 22.2)
サービス等の利用料を安くする	251 ( 25.2)	8 ( 24.2)	139 ( 21.6)	52 ( 34.0)	37 ( 30.1)	15 ( 33.3)
サービスや支援員・ヘルパー等の質を良くする	169 ( 16.9)	12 ( 36.4)	71 ( 11.0)	52 ( 34.0)	27 ( 22.0)	7 ( 15.6)
利用できる事業者の数を増やす	177 ( 17.7)	12 ( 36.4)	72 ( 11.2)	56 ( 36.6)	30 ( 24.4)	7 ( 15.6)
相談体制やサービスについての情報提供を充実させる	217 ( 21.7)	9 ( 27.3)	113 ( 17.5)	47 ( 30.7)	42 ( 34.1)	6 ( 13.3)
緊急時など必要な時にサービスを利用できるようにする	292 ( 29.3)	19 ( 57.6)	158 ( 24.5)	67 ( 43.8)	37 ( 30.1)	11 ( 24.4)
サービスの利用手続きをわかりやすく簡単にする	296 ( 29.7)	9 ( 27.3)	168 ( 26.1)	66 ( 43.1)	40 ( 32.5)	13 ( 28.9)
通学・通所・通院するための送迎や交通手段を整える	244 ( 24.4)	11 ( 33.3)	126 ( 19.6)	64 ( 41.8)	33 ( 26.8)	10 ( 22.2)
その他	42 ( 4.2)	1 ( 3.0)	29 ( 4.5)	5 ( 3.3)	6 ( 4.9)	1 ( 2.2)
特になし	234 ( 23.4)	4 ( 12.1)	171 ( 26.6)	32 ( 20.9)	22 ( 17.9)	5 ( 11.1)
無回答	152 ( 15.2)	3 ( 9.1)	111 ( 17.2)	11 ( 7.2)	14 ( 11.4)	13 ( 28.9)

単位：人 (%)

■ 回答割合が最も多い □ 回答割合が2番目に多い



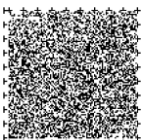
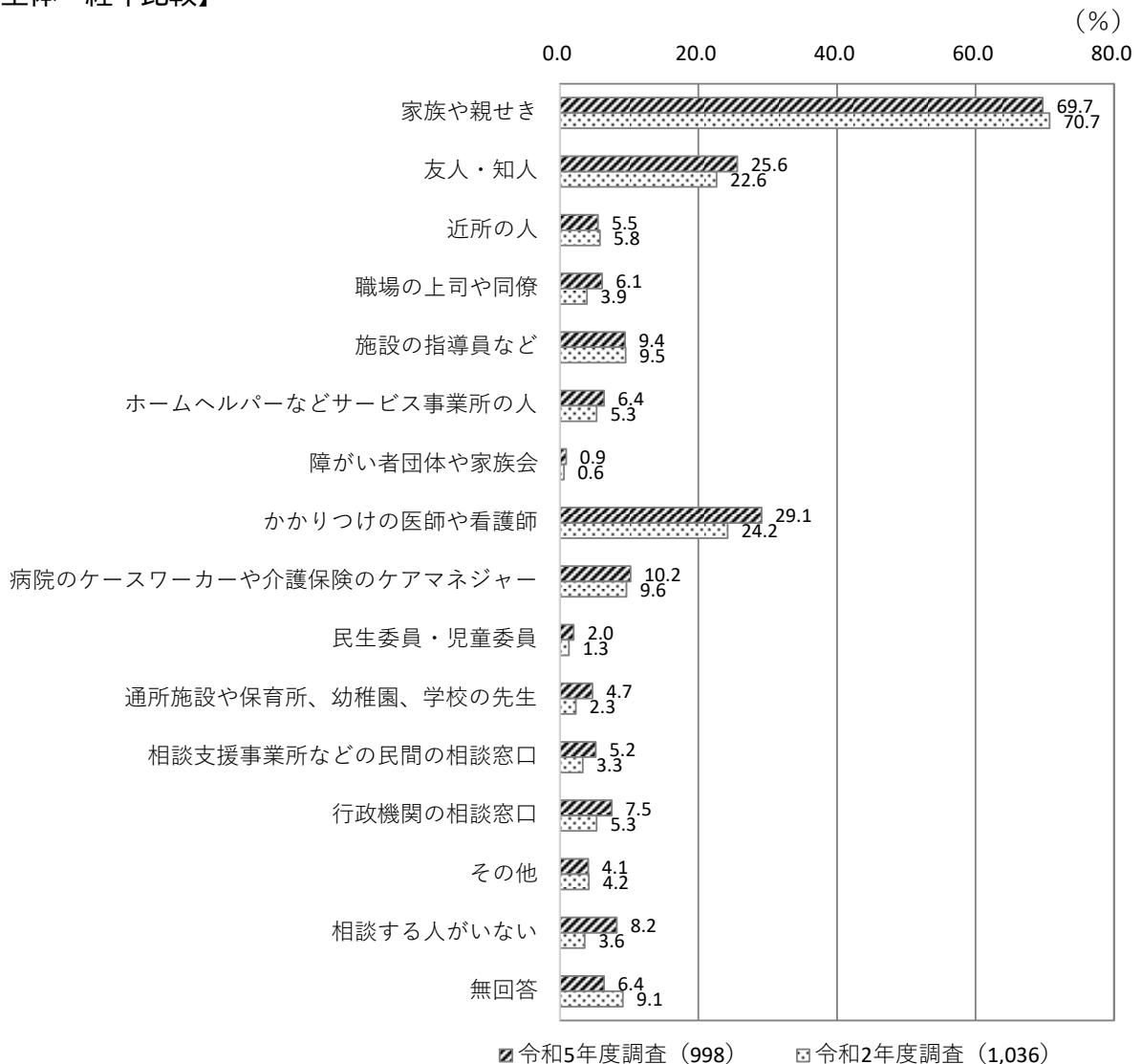
## ⑤相談相手や情報の入手について

### ア. 悩みや困りごとの相談先

悩みや困りごとの相談先は、「家族や親せき」が69.7%、次いで「かかりつけの医師や看護師」が29.1%、「友人・知人」が25.6%などとなっています。前回調査と比較すると、「かかりつけの医師や看護師」と「友人・知人」の割合が減少しています。

障がい別では、いずれも「家族や親せき」の割合が多くなっています。第2位は、「知的障がい」では「施設の指導員など」、他は「かかりつけの医師や看護師」となっています。

### 【全体・経年比較】

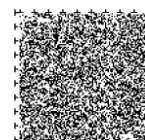


## 【障がい別】

単位：人（％）

問32 相談相手	全体	障がい区分				
		身体+知的 (精神を含む)	身体	知的 (精神を含む)	精神	無回答
合計	998 (100.0)	33 (100.0)	644 (100.0)	153 (100.0)	123 (100.0)	45 (100.0)
家族や親せき	696 ( 69.7)	28 ( 84.8)	441 ( 68.5)	120 ( 78.4)	79 ( 64.2)	28 ( 62.2)
友人・知人	255 ( 25.6)	6 ( 18.2)	171 ( 26.6)	28 ( 18.3)	36 ( 29.3)	14 ( 31.1)
近所の人	55 ( 5.5)	1 ( 3.0)	45 ( 7.0)	2 ( 1.3)	3 ( 2.4)	4 ( 8.9)
職場の上司や同僚	61 ( 6.1)	0 ( 0.0)	24 ( 3.7)	20 ( 13.1)	16 ( 13.0)	1 ( 2.2)
施設の指導員など	94 ( 9.4)	8 ( 24.2)	31 ( 4.8)	36 ( 23.5)	16 ( 13.0)	3 ( 6.7)
ホームヘルパーなどサービス事業所の人	64 ( 6.4)	7 ( 21.2)	31 ( 4.8)	10 ( 6.5)	12 ( 9.8)	4 ( 8.9)
障がい者団体や家族会	9 ( 0.9)	2 ( 6.1)	2 ( 0.3)	3 ( 2.0)	0 ( 0.0)	2 ( 4.4)
かかりつけの医師や看護師	290 ( 29.1)	10 ( 30.3)	182 ( 28.3)	33 ( 21.6)	53 ( 43.1)	12 ( 26.7)
病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	102 ( 10.2)	4 ( 12.1)	73 ( 11.3)	5 ( 3.3)	9 ( 7.3)	11 ( 24.4)
民生委員・児童委員	20 ( 2.0)	1 ( 3.0)	12 ( 1.9)	3 ( 2.0)	1 ( 0.8)	3 ( 6.7)
通所施設や保育所、幼稚園、学校の先生	47 ( 4.7)	4 ( 12.1)	3 ( 0.5)	35 ( 22.9)	5 ( 4.1)	0 ( 0.0)
相談支援事業所などの民間の相談窓口	52 ( 5.2)	6 ( 18.2)	14 ( 2.2)	21 ( 13.7)	9 ( 7.3)	2 ( 4.4)
行政機関の相談窓口	75 ( 7.5)	2 ( 6.1)	39 ( 6.1)	19 ( 12.4)	10 ( 8.1)	5 ( 11.1)
その他	41 ( 4.1)	0 ( 0.0)	22 ( 3.4)	11 ( 7.2)	8 ( 6.5)	0 ( 0.0)
相談する人がいない	82 ( 8.2)	1 ( 3.0)	51 ( 7.9)	9 ( 5.9)	19 ( 15.4)	2 ( 4.4)
無回答	64 ( 6.4)	2 ( 6.1)	47 ( 7.3)	4 ( 2.6)	4 ( 3.3)	7 ( 15.6)

回答割合が最も多い
  回答割合が2番目に多い

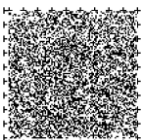
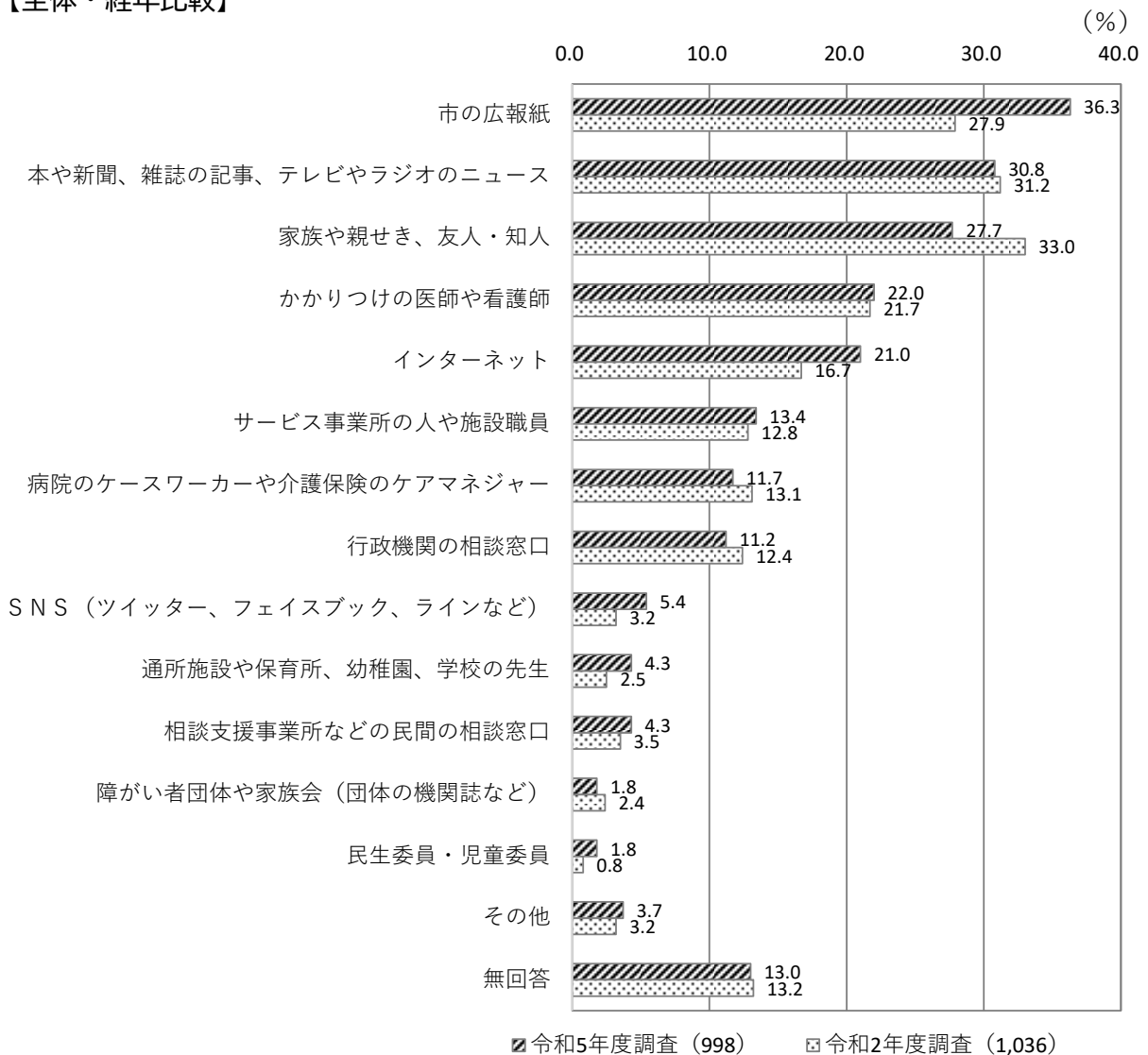


## イ. 障がいや福祉サービス等の情報の入手先

障がいや福祉サービス等の情報の入手先は、「市の広報紙」（前回は「行政機関の広報紙」）が36.3%、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が30.8%、「家族や親せき、友人・知人」が27.7%などとなっています。前回調査と比較すると、「市の広報紙」（前回は「行政機関の広報紙」）の割合が大きく増加しています。

障がい別では、「身体障がい+知的障がい」と「知的障がい」で「家族や親せき、友人・知人」が、「精神障がい」で「インターネット」が比較的多くなっています。

### 【全体・経年比較】



【障がい別】

単位：人（％）

問33 情報の入手先	全体	障がい区分				
		身体+知的 (精神を含む)	身体	知的 (精神を含む)	精神	無回答
合計	998 (100.0)	33 (100.0)	644 (100.0)	153 (100.0)	123 (100.0)	45 (100.0)
市の広報紙	362 ( 36.3)	9 ( 27.3)	269 ( 41.8)	41 ( 26.8)	28 ( 22.8)	15 ( 33.3)
本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	307 ( 30.8)	9 ( 27.3)	229 ( 35.6)	31 ( 20.3)	27 ( 22.0)	11 ( 24.4)
家族や親せき、友人・知人	276 ( 27.7)	12 ( 36.4)	170 ( 26.4)	52 ( 34.0)	31 ( 25.2)	11 ( 24.4)
かかりつけの医師や看護師	220 ( 22.0)	4 ( 12.1)	138 ( 21.4)	24 ( 15.7)	44 ( 35.8)	10 ( 22.2)
インターネット	210 ( 21.0)	4 ( 12.1)	111 ( 17.2)	41 ( 26.8)	49 ( 39.8)	5 ( 11.1)
サービス事業所の人や施設職員	134 ( 13.4)	8 ( 24.2)	62 ( 9.6)	30 ( 19.6)	25 ( 20.3)	9 ( 20.0)
病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	117 ( 11.7)	5 ( 15.2)	80 ( 12.4)	7 ( 4.6)	13 ( 10.6)	12 ( 26.7)
行政機関の相談窓口	112 ( 11.2)	4 ( 12.1)	61 ( 9.5)	27 ( 17.6)	13 ( 10.6)	7 ( 15.6)
SNS(ツイッター、フェイスブック、ラインなど)	54 ( 5.4)	3 ( 9.1)	19 ( 3.0)	16 ( 10.5)	16 ( 13.0)	0 ( 0.0)
通所施設や保育所、幼稚園、学校の先生	43 ( 4.3)	5 ( 15.2)	4 ( 0.6)	29 ( 19.0)	4 ( 3.3)	1 ( 2.2)
相談支援事業所などの民間の相談窓口	43 ( 4.3)	3 ( 9.1)	12 ( 1.9)	20 ( 13.1)	7 ( 5.7)	1 ( 2.2)
障がい者団体や家族会(団体の機関誌など)	18 ( 1.8)	3 ( 9.1)	7 ( 1.1)	6 ( 3.9)	1 ( 0.8)	1 ( 2.2)
民生委員・児童委員	18 ( 1.8)	1 ( 3.0)	10 ( 1.6)	3 ( 2.0)	1 ( 0.8)	3 ( 6.7)
その他	37 ( 3.7)	0 ( 0.0)	23 ( 3.6)	9 ( 5.9)	2 ( 1.6)	3 ( 6.7)
無回答	130 ( 13.0)	4 ( 12.1)	96 ( 14.9)	10 ( 6.5)	11 ( 8.9)	9 ( 20.0)

回答割合が最も多い
  回答割合が2番目に多い

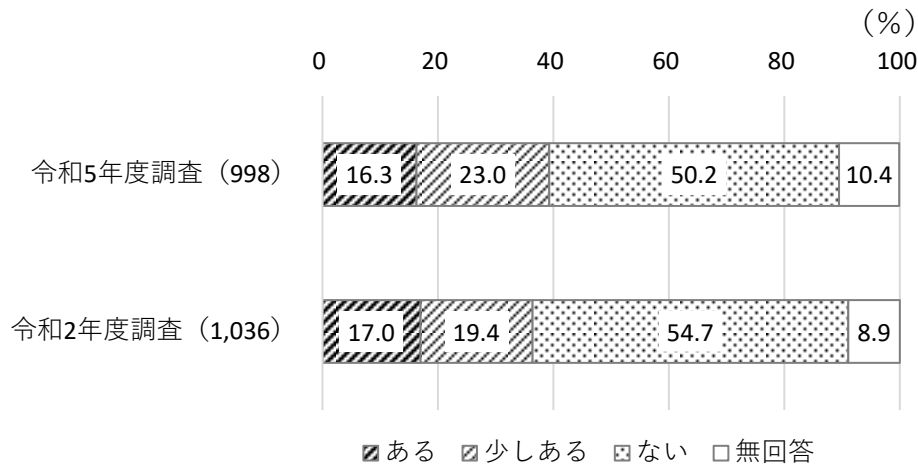


## ⑥障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）経験

差別や嫌な思いをする（した）経験は、「ある」が16.3%、「少しある」が23.0%に対し、「ない」は50.2%となっています。前回調査と比較すると、「ない」の割合が4.5ポイント減少しています。

障がい別にみると、「身体障がい+知的障がい」と「知的障がい」で、「ある」と「少しある」の割合が約6割になっています。

### 【全体・経年比較】

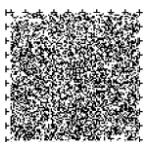


### 【障がい別】

単位：人（%）

問36 差別や嫌な思いをしたこと	全体	障がい区分				無回答
		身体+知的 (精神を含む)	身体	知的 (精神を含む)	精神	
合計	998 (100.0)	33 (100.0)	644 (100.0)	153 (100.0)	123 (100.0)	45 (100.0)
ある	163 ( 16.3)	12 ( 36.4)	67 ( 10.4)	48 ( 31.4)	29 ( 23.6)	7 ( 15.6)
少しある	230 ( 23.0)	9 ( 27.3)	133 ( 20.7)	44 ( 28.8)	33 ( 26.8)	11 ( 24.4)
ない	501 ( 50.2)	6 ( 18.2)	374 ( 58.1)	53 ( 34.6)	51 ( 41.5)	17 ( 37.8)
無回答	104 ( 10.4)	6 ( 18.2)	70 ( 10.9)	8 ( 5.2)	10 ( 8.1)	10 ( 22.2)

■ 回答割合が最も多い    ■ 回答割合が2番目に多い



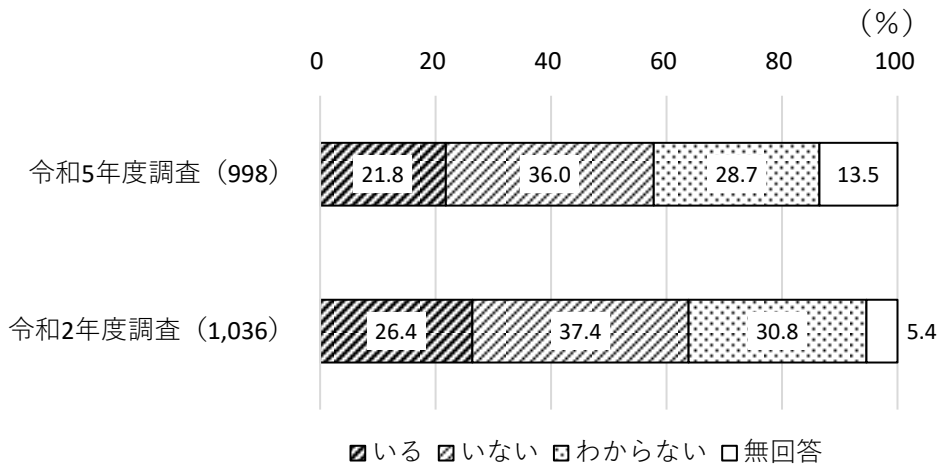


### ⑦災害時に近所に手助けしてくれる人がいるか

災害時に近所に手助けしてくれる人がいるかどうかは、「いる」が21.8%に対し、「いない」が36.0%、「わからない」は28.7%となっています。前回調査と比較すると、「いる」の割合が4.6ポイント減少しています。

障がい別にみると、いずれも「いない」が多くなっています。

#### 【全体・経年比較】

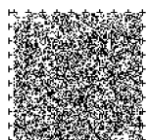


#### 【障がい別】

単位：人 (%)

問43 近所に介助者	全体	障がい区分				
		身体+知的 (精神を含む)	身体	知的 (精神を含む)	精神	無回答
合計	998 (100.0)	33 (100.0)	644 (100.0)	153 (100.0)	123 (100.0)	45 (100.0)
いる	218 ( 21.8)	6 ( 18.2)	161 ( 25.0)	25 ( 16.3)	12 ( 9.8)	14 ( 31.1)
いない	359 ( 36.0)	17 ( 51.5)	195 ( 30.3)	67 ( 43.8)	64 ( 52.0)	16 ( 35.6)
わからない	286 ( 28.7)	5 ( 15.2)	189 ( 29.3)	45 ( 29.4)	37 ( 30.1)	10 ( 22.2)
無回答	135 ( 13.5)	5 ( 15.2)	99 ( 15.4)	16 ( 10.5)	10 ( 8.1)	5 ( 11.1)

■ 回答割合が最も多い □ 回答割合が2番目に多い



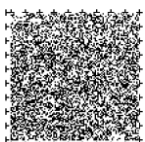
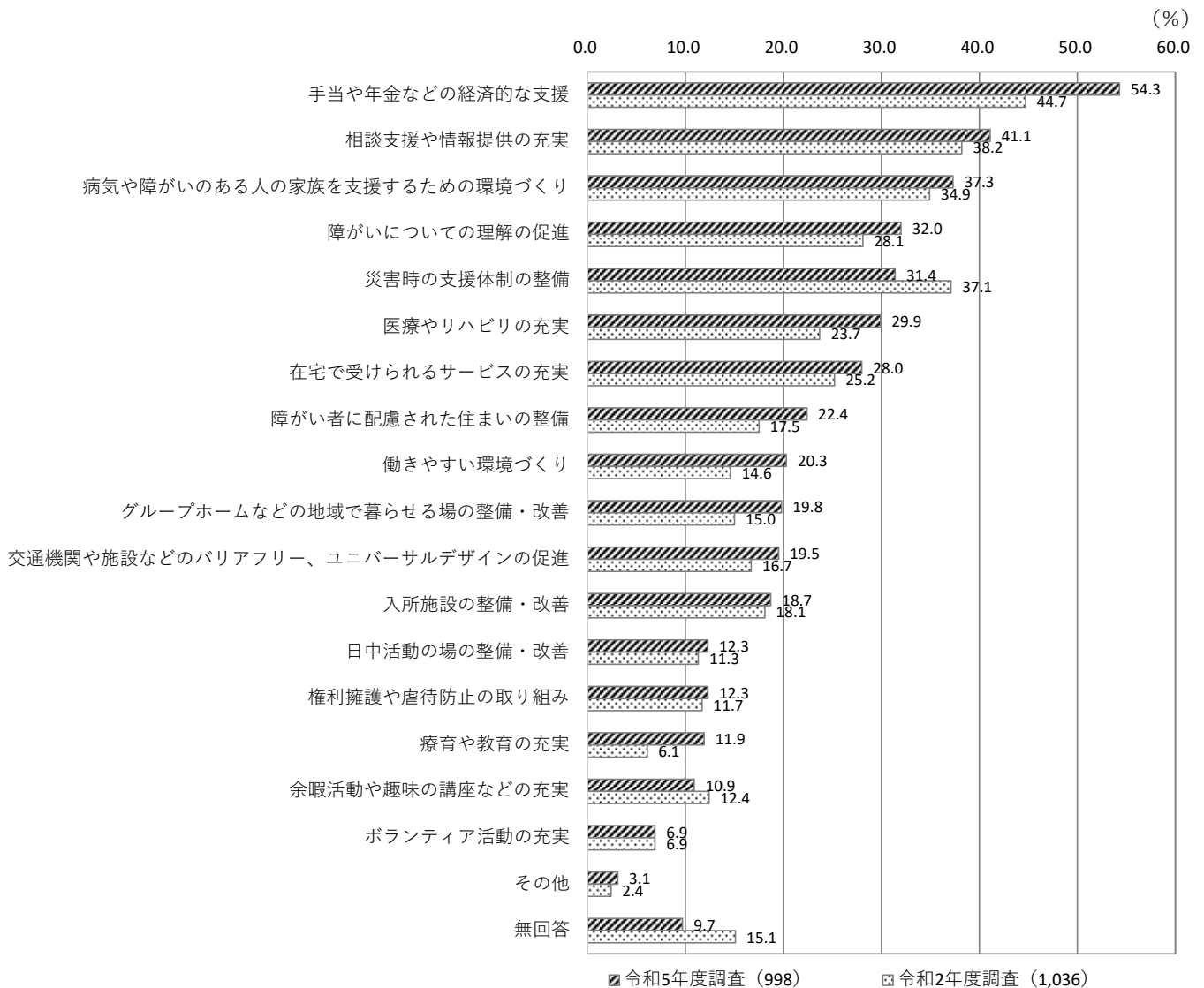
## ⑧市の障がい者福祉を推進していく上で、特に力を入れてほしいこと

特に力を入れてほしいこととしては、「手当や年金などの経済的な支援」が54.3%、次いで「相談支援や情報提供の充実」が41.1%、「病気や障がいのある人の家族を支援するための環境づくり」が37.3%、「障がいについての理解の促進」が32.0%、「災害時の支援体制の整備」が31.4%などとなっています。

障がい別では、「手当や年金などの経済的な支援」が多くなっている中で、「身体障がい＋知的障がい」では「病気や障がいのある人の家族を支援するための環境づくり」が最も多くなっています。

年齢別でも、「手当や年金などの経済的な支援」が多くなっていますが、「6～17歳」では「療育や教育の充実」が最も多くなっています。

### 【全体・経年比較】

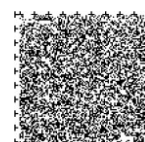


【障がい別】

単位：人（％）

問47 力を入れてほしい取組	全体	障がい区分				
		身体+知的 (精神を含む)	身体	知的 (精神を含む)	精神	無回答
合計	998 (100.0)	33 (100.0)	644 (100.0)	153 (100.0)	123 (100.0)	45 (100.0)
手当や年金などの経済的な支援	542 ( 54.3)	14 ( 42.4)	328 ( 50.9)	99 ( 64.7)	82 ( 66.7)	19 ( 42.2)
相談支援や情報提供の充実	410 ( 41.1)	14 ( 42.4)	236 ( 36.6)	79 ( 51.6)	63 ( 51.2)	18 ( 40.0)
病気や障がいのある人の家族を支援するための環境づくり	372 ( 37.3)	19 ( 57.6)	216 ( 33.5)	71 ( 46.4)	49 ( 39.8)	17 ( 37.8)
障がいについての理解の促進	319 ( 32.0)	16 ( 48.5)	148 ( 23.0)	86 ( 56.2)	57 ( 46.3)	12 ( 26.7)
災害時の支援体制の整備	313 ( 31.4)	12 ( 36.4)	185 ( 28.7)	68 ( 44.4)	34 ( 27.6)	14 ( 31.1)
医療やリハビリの充実	298 ( 29.9)	14 ( 42.4)	199 ( 30.9)	36 ( 23.5)	36 ( 29.3)	13 ( 28.9)
在宅で受けられるサービスの充実	279 ( 28.0)	10 ( 30.3)	193 ( 30.0)	27 ( 17.6)	31 ( 25.2)	18 ( 40.0)
障がい者に配慮された住まいの整備	224 ( 22.4)	13 ( 39.4)	125 ( 19.4)	48 ( 31.4)	30 ( 24.4)	8 ( 17.8)
働きやすい環境づくり	203 ( 20.3)	6 ( 18.2)	81 ( 12.6)	65 ( 42.5)	47 ( 38.2)	4 ( 8.9)
グループホームなどの地域で暮らせる場の整備・改善	198 ( 19.8)	15 ( 45.5)	75 ( 11.6)	72 ( 47.1)	26 ( 21.1)	10 ( 22.2)
交通機関や施設などのバリアフリー、ユニバーサルデザインの促進	195 ( 19.5)	11 ( 33.3)	127 ( 19.7)	30 ( 19.6)	19 ( 15.4)	8 ( 17.8)
入所施設の整備・改善	187 ( 18.7)	17 ( 51.5)	81 ( 12.6)	59 ( 38.6)	22 ( 17.9)	8 ( 17.8)
日中活動の場の整備・改善	123 ( 12.3)	8 ( 24.2)	49 ( 7.6)	42 ( 27.5)	21 ( 17.1)	3 ( 6.7)
権利擁護や虐待防止の取り組み	123 ( 12.3)	9 ( 27.3)	39 ( 6.1)	48 ( 31.4)	24 ( 19.5)	3 ( 6.7)
療育や教育の充実	119 ( 11.9)	8 ( 24.2)	29 ( 4.5)	60 ( 39.2)	18 ( 14.6)	4 ( 8.9)
余暇活動や趣味の講座などの充実	109 ( 10.9)	3 ( 9.1)	58 ( 9.0)	24 ( 15.7)	20 ( 16.3)	4 ( 8.9)
ボランティア活動の充実	69 ( 6.9)	4 ( 12.1)	36 ( 5.6)	16 ( 10.5)	11 ( 8.9)	2 ( 4.4)
その他	31 ( 3.1)	0 ( 0.0)	24 ( 3.7)	4 ( 2.6)	3 ( 2.4)	0 ( 0.0)
無回答	97 ( 9.7)	1 ( 3.0)	73 ( 11.3)	6 ( 3.9)	9 ( 7.3)	8 ( 17.8)

回答割合が最も多い
  回答割合が2番目に多い

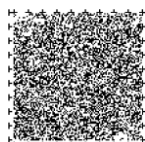


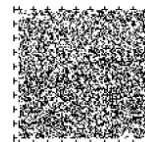
【年齢別】

単位：人（％）

問47 力を入れてほしい取組	全体	年齢						
		5歳以下	6～17歳	18～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上	無回答
合計	998 (100.0)	5 (100.0)	66 (100.0)	114 (100.0)	271 (100.0)	196 (100.0)	327 (100.0)	19 (100.0)
手当や年金などの経済的な支援	542 ( 54.3)	5 (100.0)	44 ( 66.7)	73 ( 64.0)	176 ( 64.9)	101 ( 51.5)	135 ( 41.3)	8 ( 42.1)
相談支援や情報提供の充実	410 ( 41.1)	2 ( 40.0)	31 ( 47.0)	59 ( 51.8)	111 ( 41.0)	85 ( 43.4)	117 ( 35.8)	5 ( 26.3)
病気や障がいのある人の家族を支援するための環境づくり	372 ( 37.3)	3 ( 60.0)	34 ( 51.5)	49 ( 43.0)	109 ( 40.2)	68 ( 34.7)	104 ( 31.8)	5 ( 26.3)
障がいについての理解の促進	319 ( 32.0)	3 ( 60.0)	33 ( 50.0)	62 ( 54.4)	107 ( 39.5)	43 ( 21.9)	66 ( 20.2)	5 ( 26.3)
災害時の支援体制の整備	313 ( 31.4)	1 ( 20.0)	30 ( 45.5)	44 ( 38.6)	90 ( 33.2)	54 ( 27.6)	92 ( 28.1)	2 ( 10.5)
医療やリハビリの充実	298 ( 29.9)	1 ( 20.0)	13 ( 19.7)	35 ( 30.7)	85 ( 31.4)	67 ( 34.2)	95 ( 29.1)	2 ( 10.5)
在宅で受けられるサービスの充実	279 ( 28.0)	1 ( 20.0)	12 ( 18.2)	21 ( 18.4)	71 ( 26.2)	52 ( 26.5)	116 ( 35.5)	6 ( 31.6)
障がい者に配慮された住まいの整備	224 ( 22.4)	1 ( 20.0)	21 ( 31.8)	33 ( 28.9)	68 ( 25.1)	43 ( 21.9)	55 ( 16.8)	3 ( 15.8)
働きやすい環境づくり	203 ( 20.3)	1 ( 20.0)	38 ( 57.6)	50 ( 43.9)	81 ( 29.9)	13 ( 6.6)	16 ( 4.9)	4 ( 21.1)
グループホームなどの地域で暮らせる場の整備・改善	198 ( 19.8)	2 ( 40.0)	26 ( 39.4)	49 ( 43.0)	50 ( 18.5)	25 ( 12.8)	46 ( 14.1)	0 ( 0.0)
交通機関や施設などのバリアフリー、ユニバーサルデザインの促進	195 ( 19.5)	1 ( 20.0)	15 ( 22.7)	22 ( 19.3)	57 ( 21.0)	41 ( 20.9)	56 ( 17.1)	3 ( 15.8)
入所施設の整備・改善	187 ( 18.7)	2 ( 40.0)	21 ( 31.8)	39 ( 34.2)	47 ( 17.3)	27 ( 13.8)	50 ( 15.3)	1 ( 5.3)
日中活動の場の整備・改善	123 ( 12.3)	0 ( 0.0)	17 ( 25.8)	27 ( 23.7)	37 ( 13.7)	14 ( 7.1)	27 ( 8.3)	1 ( 5.3)
権利擁護や虐待防止の取り組み	123 ( 12.3)	1 ( 20.0)	15 ( 22.7)	33 ( 28.9)	44 ( 16.2)	14 ( 7.1)	14 ( 4.3)	2 ( 10.5)
療育や教育の充実	119 ( 11.9)	4 ( 80.0)	45 ( 68.2)	19 ( 16.7)	32 ( 11.8)	7 ( 3.6)	9 ( 2.8)	3 ( 15.8)
余暇活動や趣味の講座などの充実	109 ( 10.9)	0 ( 0.0)	12 ( 18.2)	15 ( 13.2)	31 ( 11.4)	18 ( 9.2)	33 ( 10.1)	0 ( 0.0)
ボランティア活動の充実	69 ( 6.9)	0 ( 0.0)	6 ( 9.1)	9 ( 7.9)	23 ( 8.5)	13 ( 6.6)	17 ( 5.2)	1 ( 5.3)
その他	31 ( 3.1)	0 ( 0.0)	1 ( 1.5)	4 ( 3.5)	7 ( 2.6)	4 ( 2.0)	13 ( 4.0)	2 ( 10.5)
無回答	97 ( 9.7)	0 ( 0.0)	2 ( 3.0)	4 ( 3.5)	16 ( 5.9)	17 ( 8.7)	54 ( 16.5)	4 ( 21.1)

回答割合が最も多い
  回答割合が2番目に多い





### 3 事業所調査結果の概要

#### (1) 事業所調査の実施概要

計画の見直しにあたり、福祉サービスを提供する事業所に対し、障がい者を取り巻く現状や課題、今後の方向性に関する意向などを把握するため、調査を実施しました。(郵送方式により調査票を配布、郵送やメール等で回収、回答数は7件)

#### (2) 結果概要(抄)

##### 【市民意識の醸成】

- ・障がい者グループホーム\*の認知度が低く、地域に根付く必要性がある社会資源ですが、発信していく方法が難しく地域との交流が難しいと思われます。
- ・地域交流の場は必要と考えます。当たり前で地域で暮らせるよう地域への理解が大きな課題です。
- ・市民まつりや福祉まつり等、交流できる機会があるので嬉しく思います。

##### 【生活しやすいまちづくり】

- ・近隣の駅(幸手駅)までの交通手段等が障がい者にとっては不足しており、移動支援等を利用しないと自由に行動をすることが出来ない状況です。自由に行動が出来ても、道幅も狭く、交通事故の可能性が危惧されます。
- ・雨の日に室内で遊べる建物があると嬉しいです。

##### 【防犯・防災】

- ・ご近所の方々への理解と協力で、より暮らしやすくなる気がします。
- ・避難計画では、避難先は計画に入っていますが、実際、有事の際に障がい者の方を環境的に受け入れて頂けるか不安視されるため、ホームにとどまる必要性があることも可能性として考慮しなければなりません。また、水害の際には、障がい者の度合いを考慮すると垂直避難の選択肢しかないように思われます。

##### 【地域福祉活動】

- ・毎年夏休みにボランティアの方がたくさん来てくれているので、嬉しく思います。
- ・現在、放課後等デイサービスに通所している児童が、多数参加できるボランティア活動の増加を希望します。地域の活性化、児童の貴重な経験のため、積極的に参加していきたいと考えております。

##### 【就労支援】

- ・近隣に、就労先を確保して頂きたいと思います。就労支援の社会資源が少ない状況で、就労を希望している利用者がなかなか就労につなげない状況にあります。

##### 【生活安定支援】

- ・家族支援の難しさを感じています。子どもの背景には、親の存在があり、親をケアしていくことで、子どもが成長していくことができます。親自身も、少なからず精神的に困難を抱えているケースがあるので、親のケアができる施設があったらよいと思います。

